

稅點ヲ下ゲテ、モウ少シ下級ノ者ニ稅ヲ納メ
テ貰タラドウダラウカト云フ考ヲ持ッテ居
ル一人デアリマスガ、先づ第一ニ御伺シタ
イノハ、免稅點ノ千圓ヲ更ニ八百圓トサレ
タナラバ、凡ソ何人位增加シテ、ドレ位ノ
稅額ガ增收ニナリマセウカ、ソレヲ御伺致
シタイノデゴザイマス

○松隈政府委員 千圓ノ免稅點ヲ八百圓マ
デ下ゲマシテ納稅者ノ殖エル人員等ニ付テ
ハ、後程數字ヲ申上ゲルコトニ致シマス
○高橋委員長 宇賀君ニ一寸御相談致シマ
ス、内務省ノ政府委員ハ御必要デアリマスカ
○宇賀委員 イヤ別ニ今ノ所私ハ必要アリ
マセヌ

○高橋委員長 必要ノ時分ニハ御請求ヲ願
ヒマス

○宇賀委員 物價ガ騰貴シテ來ル場合ニ此
稅ノ免稅點ヲ引下ゲルト云フコトハ、如何ニ
モ一部ノ委員ノ御方ガ仰シヤル通リニ、現
代的ノ租稅ノ觀念トシテ面白クナイヤウニ
考ヘテ居ル御方モアルヤウデアリマスケレ
ドモ、私ガ斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタノ
ハ、八百圓ヲ免稅點ニスルカラニハ、ソレ
ヨリ下ノ方ハ、即チ八百圓位ノ金ガナケレ
バ一家ノ生活ハ出來ナイカラシテ、八百圓
以下ノ額ハ全部控除スルヤウナ案ヲ御考へ

ニナツタラドウカト云フ、第二段ノ考ヲ實ハ
持ッテ居ルノデアリマス、何故カト云フト、
現今千二百圓マデ免除サレテ居リマスガ、
其結果千百九十九圓ノ所得アル人ハ、國稅
トシテ所得稅ヲ一文モ拂ッテ居ナ イノデア
リマス、偶、色々ナ控除額ヲ差引キマシテ千
二百圓ニナツタ人ハ、一圓ノ差ノ爲ニ、今マ
デノ所デ十二圓バカリノ稅金ヲ納メマスル
シ、今度ハ十五圓バカリノ稅金ヲ納メナケ
レバナラヌヤウニナリマス、若シモ八百圓
ト云フ控除額ヲ認メマスト、千圓ノ所得ノ
人ハ八百圓ヲ差引イタ二百圓ニ課稅サレレ
バ宜シイ、千二百圓ノ人ハ四百圓ニ課稅サ
レバ宜シイ、斯ウ云フコトニナリマシテ、
今ノヤウナ極メテ不合理ナル負擔ノ方法ガ
訂正サレルダラウト思ハレルノデアリマス、
先程モ或ル御方カラ話サレタヤウニ、
賞與金ヲ一圓餘計貰ッタ爲ニ稅ヲ課ケラレ
タ、一圓賞與金ヲ少ク貰ッタラ國稅ハ一文
モ拂ハナクテモ濟ムヤウニナツタラウト
云フヤウナ、極ク極端ナ場合モ想像シ
得ラレルヤウナ稅制ノ立テ方ハドウカ
ト思フノデアリマス、今マデノ稅制ノ立
テ方ガ全部サウ云フ風ニナツテ居ツタカラ
已ムヲ得ナイト見エマシテ、昨日モ水谷委
員カラ申サレマシタ通り、東京市其外十

一市ニ於キマシテハ、千二百圓ノ免稅點
以下ノ者ニ特別所得稅ト云フモノヲ課シテ、
持ッテ居ルノデアリマス、何故カト云フト、
自分ハ稅ノ立前上納得出來ヌト云フコトヲ
現今千二百圓マデ免除サレテ居リマスガ、
其額ガ慥カ五十八万圓バカリ市稅トシテ取
得ラレルヤウナ次第デアリマス、斯ウ云フコ
トヲ考ヘテ見レバ、免稅點以下ニモマダ稅ヲ
居ルヤウナ立派ニ證明スル一
ツノ事實ニナリハシナイカト私ハ思ヒマス、
又國民ノ側カラ見テモ、成程國ニ稅ヲ納メ
ルノモ、或ハ地方公共團體ニ稅ヲ納メルノ
モ、納メルコトハ本當ニ考ヘレバ同ジコト
モ、ナラヌヤウニナリマス、若シモ八百圓
ト云フ控除額ヲ認メマスト、千圓ノ所得ノ
人ハ八百圓ヲ差引イタ二百圓ニ課稅サレ
バ宜シイ、千二百圓ノ人ハ四百圓ニ課稅サ
レバ宜シイ、斯ウ云フコトニナリマシテ、
今カラ十何年カ前ニ、地租委讓問題ガ起ツタ
當時ニ於キマシテ、私共モ地租委讓ハ沟ニ
結構ダ、地方ノ公共團體、市町村ニ於テハ
稅源ガ窮乏シテ居ルカラ、是ガ地方ニ委讓
サレ、バ、何デモ七千何百万圓カデアツト
思ヒマスガ、是ガ地方ニ行ケバ、ソレダケ
地方ノ稅源ヲ涵養シテ、大變好都合ニナル
ト云フコトヲ田舎ノ私ノ親戚ノ者ニ話シマ
シタ所ガ、其親戚ノ人ガ眼ノ色ヲ變ヘテ、
オ前ハ學問ヲシテ役人ニナツタングカラ、モ
ウ少シ物ガ分ッテ居ルカト思ツタラ、存外ノ
物ノ分ラヌコトヲ言フ男ダ、吾々ハ國家ニ
ダカラ地租ヲ喜ンデ拂ッテ居ルシダ、ソレヲ

地租ヲ國家カラ取上げテ、サウシテ唯市町
村ニダケ委讓スルナドト云フコトニ付テハ、
自分ハ稅ノ立前上納得出來ヌト云フコトヲ
申サレタ、私ハヤハリ日本人ハ、成程昔カ
マダ中々多ク居ルノデナイカト云フコトヲ、
實ハ考ヘタコトガアリマシタ、其事ヲ思ヒ
合セマシテ、今ノ稅制改革ノ時ニ斯ウシタ
ラドウカト申スコトハ此際差控ヘマスガ、
ドウセ稅ヲ變ヘナケレバナラヌ時期モ澤山
アルデアリマセウ、既ニ所得稅法中改正案
デアリマスケレドモ、日本臣民トシテハ、
ヤハリ國家ニ租稅ヲ納メタイト云フ信念ニ
燃ユル人ガ非常ニ多イノデアリマス、曾テ
ノ第十三條ニ依リマシテ、退職給與金ノ場
アルデアリマセウ、既ニ所得稅法中改正案
ノ第十三條ニ依リマシテ、退職給與金ノ場
合ニ於テハ、五千圓以上ノ一時退職給與金
ガアツタ場合ニ於テハ五千圓ヲ控除シタモノ
ニ稅ヲ課ケル、六千圓戴イタ者ハ一千圓ニ
課稅サレル、八千圓ノ者ハ三千圓ニ課ケラ
レル、斯ウ云フ新例ヲ開イタヤウニ考ヘテ
居リマス、ソレハ沟ニ私ハ時宜ヲ得タル結
構ナル提案ト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナ
趣旨ヲ他ノ方面ニ及ボシテ下サルヤウニ御
考慮ハ出來ナイモノデアリマセウカ、之ニ
對スル大藏當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒ
マス

○大矢政府委員 今ノ御意見ハ沟ニ御尤ナ
コトガ多イト存ジマス、各種ノ租稅立法ヲ
スル場合ニ、御趣旨ノヤウニヤツテ行クノモ

一つノ行キ方デアリマス、從來我國ノ所得

稅法、相續稅法其他ニ於キマシテハ、今御

示シノ通リ斯ウ云フコトハヤッテ居リマセヌ

デシタ、今度退職給與金ニ付キマシテ五千

圓ヲ控除スルト云フコトヲ致シマスノハ、五

千圓ト云フ額ハ相當大キナ額デアリマシテ、

此控除ヲシナケレバ五千圓未滿ノモノト五

千圓ヲ超エルモノトノ間ニ於テ非常ニ負擔

ノ差ガ大キクナルノデアリマス、之ニハ稅

率ノ關係モアリマスケレドモ、負擔ガ相當

大キクナルト云フ點ヲ考慮致シマシテ、又

殊ニ退職給與金ハ毎年入ッテ來ルモノデハア

リマセヌ、十數年又ハ數十年間ノ勤勞ノ結

果、一生ニ僅カ一回入ッテ來ルノヲ原則トス

ルモノデアリマスカラ、サウ云フ點モ考慮

致シマシテ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケヨウ

トスル次第デアリマス、所得稅法等ニ於キ

マシテ、御話ノヤウニ免稅點以下ノ部分ヲ

總テノ納稅者ニ對シテ控除スルト云フコト

ニ致シマスレバ、總體ニ於テ隨分稅ガ減收

ニナルノデゴザイマス、隨テ所得稅率全般

ヲ引上ゲナケレバナラヌト云フ問題モ一方

ニ起ツテ來ルカト思ヒマス、サウ云フ點モゴ

ザイマスノデ此際ト致シマシテハ、今迄ノ

ヤリ方ヲ變ヘル譯ニ參リマセヌデシタガ、

將來一般的ノ稅制改正ニ際シマシテ十分研

究シテ見タイト存ジマス

○宇賀委員 勿論此控除額ヲ決メマスレバ、

稅ガ今迄ヨリモ、減ッテハ大變デアルカラ、

ソレヲ補填スルニ足ルダケノ稅率ヲ上ゲテ行

アリマスケレドモ、折角斯ウ云フ改正所得稅

法第十三條ノヤウナ好イ模範ヲ此際示シテ

下サツタノデアルカラ、之ヲ何故他ニ及ボサ

ナカツタカト云フコトヲ私ハ聽イタノデアリ

マスガ、一時恩給又ハ之ニ類スル退職給

與金ト云フモノハ、現在ノ給料ノ社會制度

ノ上カラ見テ、給料ヲ澤山ヤツテ、辭タル時

ウナ生優シイ御返事デアリマシタケレド

マス、此次ニ一ツ考へテ見マスト云フヤ

リマシテ、私ハソレナラバ此改正所得稅法

ノ第十三條ニ於テ、五千圓ト云フ金額ノ根

據ハ何處ニアルノデアルカト云フコトヲ伺

ヒタイト思ヒマス、退職給與金ハ一ヶ年ニ

何百万圓、何千万圓アルカ、又其中五千圓

以下ノ人ハ何人位アルデラウカ、此邊ニ

付テ大藏當局ノ御調ガ付イテ居ルモノガア

ルナラバ御示シヲ願ヒタイ

○大矢政府委員 五千圓以上ノ退職給與金

ヲ受ケマシタ者ヲ過去數年間ニ付テ調ベタ

モノガゴザイマス、昭和九年ニ於キマシテハ千五

百六十八人、十一年ニ於キマシテハ千五百二

十人トナツテ居リマス、五千圓以下ノモノ

ニ付キマシテハ今茲ニ數字ヲ持合セマセ

ス、非常ニ數ガ多クナルト思ヒマスガ、何

後刻御答致シマス

○宇賀委員 サウスルト唯大體ノ見當カラ

カナケレバナラヌト云フコトモ一ツノ見方

下サツタノデアルカラ、之ヲ何故他ニ及ボサ

ナカツタカト云フコトヲ私ハ聽イタノデアリ

マスガ、一時恩給又ハ之ニ類スル退職給

與金ト云フモノハ、現在ノ給料ノ社會制度

ノ上カラ見テ、給料ヲ澤山ヤツテ、辭タル時

ニハ餘リヤラナイト云フヤリ方ヲシテ居ル

所モアリ、又昔ノオ店ナドカラ段々發達シ

テ來タ會社其他ニ於テハ、給料ハ貧弱極

マル程シカ吳レナイガ、辭タル時ニハ一遍

ニ澤山ノ金ヲ吳レル、今迄月給トシテ當然

與フベキモノヲ與ヘズニ置イタモノヲ、自

分ノ所デ金利積立トシテ纏ヌテ吳レルト云

ヒタイト思ヒマス、退職給與金ハ一ヶ年ニ

何百万圓、何千万圓アルカ、又其中五千圓

以下ノ人ハ何人位アルデラウカ、此邊ニ

付テ大藏當局ノ御調ガ付イテ居ルモノガア

ルナラバ御示シヲ願ヒタイ

○大矢政府委員 五千圓以上ノ退職給與金

ヲ受ケマシタ者ヲ過去數年間ニ付テ調ベタ

モノガゴザイマス、昭和九年ニ於キマシテハ千五

百六十八人、十一年ニ於キマシテハ千五百二

十人トナツテ居リマス、五千圓以下ノモノ

ニ付キマシテハ今茲ニ數字ヲ持合セマセ

ス、非常ニ數ガ多クナルト思ヒマスガ、何

後刻御答致シマス

○太田政府委員 宇賀サンノ御質問ハ洵ニ

御尤ノコトト存ジマス、此五千圓ノ限界ト

云フモノハ相續稅ノ關係ニモアリ、又今度

保險ノ關係ニモ出テ居リマスシ、退職給與

金ニモ五千圓ト云フコトガ出テ居リマス、

據カラ出テ居ルカト云フコトモ一ツノ見方

デアリマスガ、御承知ノ通り恩給法ヲ見テ

モ、他ノ所得ガ五千圓以上アル場合ニハ、千

圓以上ノ恩給ニ對シテ何割ノ停止ヲスルト

云フヤウニ、恩給法ニ於ケル一ツノ狙ヒモ五

千圓トナツテ居リマス、此退職給與金ト云

云フヤウニ、恩給法ニ於ケル一ツノ狙ヒモ五

世間ノ聲モ其邊ニ在ルト云フコトヲ見マシテ、此五千圓ト云フ數字ヲ認メタ次第デゴザイマス、勿論世間ノ聲其モノヲ持ッテ來タス様ニ立案者側ニ於テハ考ヘテ居ツタ次第デゴザイマス、尙ホ今御質問ノ數字ニ付キマシテハ、分リ次第早ク御知ラセスルヤウニシタイト存ジマス

合ニ於キマシテハ、御示シノ通リ恩給年限ニ達シタ後ニ退職スル者ト、年限ニ達シナ
イ前ニ退職スル者トノ金額ガ違ヒマス、ソレカラ普通ノ判任官ガ退職スル者ニ於キマ
シテハ、私共ノ關係致シテ居リマスル稅務ノ範圍ニ於キマシテハ、千圓ヲ超エルヤウ
ナ者ハ通常殆ドゴザイマセヌ、ソレカラ奏任官ノ方ニ於キマシテモ三千圓トカ四千圓

藏當局ノ御教ヲ戴キタイト思フノデアリマス、ドウモ今度ノ臨時利得稅法ハ二本立ニナリマシテ、私共ニハ能ク了解シニクイ點ガアルノデアリマスガ、之ヲ自分で讀ンデ色々ナ場合ヲ考ヘマスルト、ドウモ低イ所デハ大變ニ個人ノ方ハ有利ニ規定ガ出來テ居リマシテ、法人ノ方ニハ少シ氣ノ毒ナ點ガアルヤウデアル、ソレデアルカラ、或ル

ハ乙ト云フモノガ出来マシタケレドモ、甲種ダケニ付テハ、法人ノ利得ニ付テハ百分ノ十、個人ノ利得ニ付テハ百分ノ八デアッタ、是ガ臨時租税増徴法ニ依リマシテ、片方ハ五割課ケラレテ百分ノ十五ニナルシ、片方ニ二割五分課ケラレテ百分ノ十一ナッタ、更ニ北支事件特別稅法ニ依リマシテ各割五分ヅツ増徴サレマシタカラ、ソレヲ

○宇賀委員 是ハ大變ラカシナコトヲ聞イテ淘ニ相濟マヌケレドモ、此間吾々ノ同僚

ニ上ル者ハ殆ドゴザイマセヌ
○宇賀委員 今ノ勅任官トカ、奏任官ノ五

場合ニハ第十四條ノ資本金十万圓以下云々トカ、百分ノ三十八之ヲ百分ノ二十五トス
十七・二五、個人ノ方ガ百分ノ十一・五トナル
計算シテ見マスト、丁度法人ノ方ガ百分ノ

ノ中ニ、ドウモ役人ハ十七年勤メレバ恩給ヲ貰ヘルガ、一時恩給トカ、或ハ退職手當成ベク自分等ニ税ガ課ラヌヤウニ五千圓ニシタノデハナイカト思ハレルト云フヤウナ心持ヲ以テ質問シタ御方ガゴザイマスケレドモ、實際官吏ノ退職給與金ト云フモノハ一人當リドンナ額ニナッテ居リマセウカ、何カ御調ニナッタモノガゴザイマセウカ、ドウモセウカ、尙ホ一寸補足シテ置キマスガ何モ判任官ノ低イ所マデト云フノデハナイ、出來ルナラバ、奏任官ノ五等位トカ、或ハ勅任官何等トカ、ソコラ位デ結構デゴザイ

等、四等、三等位ノ人デ、退職給與金ガ三
千圓、四千圓ニ及ブ者ハ一人モナイト云フ
コトハ本當デゴザイマセウカ、是ヘ押問答
シテモ仕方ガアリマセヌガ、調ガナイト云
フコトデアリマスカラ別ニ御答辯願ハナク
テモ宜イノデアリマス、私共ノ知ツテ居ル
範圍ニ於テハ少シドウカト思ヒマスガ……
○大矢政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、
先程奏任官ノ三等四等邊ヘドノ程度カト云
フ御話デアリマシタカラ左様ニ申上ゲマ
シタ、勅任官ノコトニ付テハ別ニ御尋ガア
リマセヌデシタカラ答ヘマセヌデンタガ、
勅任官ノ方デモ通常五千圓ヲ超エルノハ殆
ドゴザイマセヌ

ト云フヤウナ條文ガアツテ、其點デ均衡ハ
益ノ多イモノヲ想像致シマスト、恐ロシク
不公平ガ出テ來ルヤウニ私共ハ思フノデア
リマス、自分ノ頭ガ悪クテ能ク分ラナイ結果
果、ソンナヤウナ數字ガ出テ來ルノデアル
カ、或ハ此規定ガ規定通リニ考ヘタラバサ
ウ云フ風ニナルノカ、先ヅ第一ニ此第十四
條ノ、法人ノ臨時利得稅ハ甲種利得ニ付テ
ハ利得金額ノ百分ノ十七・二五、乙種利得ニ
付テハ百分ノ三十トアツテ、ソレニ相應スル
第十四條ノ二ニ、個人ノ臨時利得稅ハ甲種
利得ハ百分ノ十一・五、乙種利得ハ百分ノ二
十、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマス、元ノ臨

之ヲ算盤ヲ彈イテ見マスト、丁度三ト二ノ
比率ニナツテ居リマスカラ、ソレデ今度乙種
利得ヲ計算スル時ニ、ヤハリ、同ジ比率ヲ
保ツテ、法人ハ百分ノ三十、個人ニ付テハ百
分ノ二十ト云フ數字ガ出テ來タヤウニ思ハ
レルノデアリマスガ、先ヅ此問題ニ付キマ
シテ、私共ガ疑問ニ思フノハ、法人ハ資本
金ト云フモノヲ御認ニナツテ、資本金ノ何割
以上ノ利益ガアッタ者ニハ臨時利得稅ヲ課
稅スルト御決メニナツタニモ拘ラズ、一番初メ
認メズシテ、三千圓以上ノ利得ガアッタ者ハ
ノ個人ニ付テハ、資本金ト云フモノハ全然
ノデアリマス、私熟考ヘルノニ、現在ノ經

○大矢政府委員 今御尋ノヤウナ詳シイ數字ハ手許ニ持ッテ居リマセヌガ、唯官吏ノ場

○宇賀委員 私ハ是デ此項ノ質問ヲ打切り
マス、尚ホ臨時利得税ノコトニ付テ少シ大

時利得税法ヲ見マスルト、一番初メノ臨時

濟組織ノ世ノ中ニ於テ、苟モ資本ナクシテ
金ガ儲ケラレルナント云フコトハ、私共ニハ

到底了解出來ヌ、如何ニ敏腕家ト雖モ、素
寒貧デ、一文無シデ、全部借金デ金儲ケヲ
スルナント云フコトハ、或ハ天勝サンノ手
品カ何カ御覽ニナレバ御想像出來ルカモ知
レナイガ、私共ニ於テハサウ云フモノハ先
ヅナイト思フ、ソンナモノヲ基本ニシテ税
ヲ考フベキモノデハナイダラウト思フノデ
アリマス、所ガ一番初メノ臨時利得税ト云
フモノハ、サウ云フ立前ニナッテ出來テ居ル
ノデアリマス、ソコデ第一ニ御伺致シタイ
ノハ、法人ノ平均利益ヲ計算シテ一割トカ
何トカ云フコトガアル、此場合ノ資本ト云
フモノハ、拂込済ノ資本竝ニ積立金、或ハ
後期繰越金ト云フヤウナ金額ヲ合セタモノ
ヲ以テ資本金ト看做シテ居ルノデアリマセ
ウカ、ソレヲ先ニ御伺致シマス

○大矢政府委員 法人ノ資本金ノ計算ハ御

示シノ通リデアリマス、拂込資本金ノ外ニ
積立金、繰越金ヲ總テ加算シテ計算サレル
ノデアリマス

○宇賀委員 サウシテ見マスルト、個人ノ

利益ヲ計算スル時ニ、第九條ノ二ヲ見マス
ルト「前條ノ規定ニ依リ利得ヲ計算スル場合
ニ於テ昭和六年以前三年ノ平均利益ガ三千
圓未滿ナルトキハ三千圓」ト看做ストアル、
私共今日ノ社會觀念カラ計算シテ見マスル

ト、少クモ法人ニ於テハ七分ノ利得ガ當リ
スルナント云フコトハ、或ハ天勝サンノ手
品カ何カ御覽ニナレバ御想像出來ルカモ知
レナイガ、私共ニ於テハサウ云フモノハ先
ヅナイト思フ、ソンナモノヲ基本ニシテ税
ヲ考フベキモノデハナイダラウト思フノデ
アリマス、所ガ一番初メノ臨時利得税ト云
フモノハ、サウ云フ立前ニナッテ出來テ居ル
ノデアリマス、ソコデ第一ニ御伺致シタイ
ノハ、法人ノ平均利益ヲ計算シテ一割トカ
何トカ云フコトガアル、此場合ノ資本ト云
フモノハ、拂込済ノ資本竝ニ積立金、或ハ
後期繰越金ト云フヤウナ金額ヲ合セタモノ
ヲ以テ資本金ト看做シテ居ルノデアリマセ
ウカ、ソレヲ先ニ御伺致シマス

○大矢政府委員 法人ノ資本金ノ計算ハ御

示シノ通リデアリマス、拂込資本金ノ外ニ
積立金、繰越金ヲ總テ加算シテ計算サレル
ノデアリマス

○宇賀委員 サウシテ見マスルト、個人ノ

利益ヲ計算スル時ニ、第九條ノ二ヲ見マス
ルト「前條ノ規定ニ依リ利得ヲ計算スル場合
ニ於テ昭和六年以前三年ノ平均利益ガ三千
圓未滿ナルトキハ三千圓」ト看做ストアル、
私共今日ノ社會觀念カラ計算シテ見マスル

前ダト見テ居リマスカラ、凡ソ資本金カラ
計算シマスト、個人ガ三千圓ノ利益ヲ舉ゲ
ルニハ、四万五千圓位ノ資本ガナケレバ三
千圓ノ利得ハ得ラレナイノデアリマス、勿
論法人ヨリモ個人ガ、小資本ニ於テハ有利
ニ資本ヲ回轉セシメ得ラレル場合ガ想像セ
ラレマスルカラ、或ハ四万圓、三万五千圓
位ノ資本ト見テモ宜イカモ知レマセヌガ、
私ハソンナ風ニ兩者ノ比較ヲヤツテ見タノ
デアリマス、モウ一ツ次ノ問題ヲ御聞キ申
ス前提トシテ、一體三千圓ト云フ金ハ何處
カラ算盤ヲ彈イテ出テ來タ金デアリマセウ
カ、之ヲ一ツ御示シヲ願ヒマス

○大矢政府委員 是ハ臨時利得税法制定ノ
當時論議セラレタ問題デゴザイマス、昭和

四、五、六年當時ニ於ケル個人ノ營業收益
税納稅者ニ付キマシテ、平均一人當リノ純
益ガ如何程デアルカト云フコトヲ調べテ見
マシタ所ガ、大體二千七八百圓——三千圓
ヨリ一寸低クナッテ居ツタ譯デアリマシタ、
先づ大體新規ニ開業スル者ニ對シテモ、此
營業收益稅納稅者ノ平均額マデノ利益ガア
ルモノト見テ置イタナラバ妥當デハナカラ

ウカ、斯ウ云フ根據ニ基キマシテ三千圓ト
出シニナッタノデセウカ、之ヲ伺ヒマス

○大矢政府委員 是ハ法人ノ方ノ平均利益
ノ少カッタモノ、或ハ新規開業ノモノニ對シ
テハ、前ニハ七分ト見テ居タガ、今度ハ一割
ト致シマシタ、此權衡ヲ取リマシテ、從來

ハ個人ニ付テハ三千圓デアルガ、今回設ケ
マシタ乙種ノ利得ニ付テハ之ヲ五千圓ニ致
シマシタノデアリマシテ、七分ニ對スル一
割ノ割合カラ致シマスレバ、四千幾ラニ
ナッテ五千圓ニハ達シナイ筈デアリマスケ
レドモ、多少ノ裕リヲ見テ五千圓ト致シタ
次第デアリマス

○宇賀委員 法人ニ對スル乙種ノ利得ガ一
割ト云フコトヲ見テ、是ト釣合ヲ取シテ、乙
種ノ個人ノ利得ヲ五千圓トシタト云フ、此二
ツノ事實ヲ竝ベテ、私共ニハ大變ニ難カシ

クテ算盤ガ出來ナイカラ、大藏省ノ頭ノ良
イ御方ニ算盤ヲヤツテ戴キタイト思ヒマス
ガ、私ハ先程申シマシタ通り、資本ガナケ
ダケノ稅金ヲ出シタラ宜イカト云フ場合

ニ、甲ノ方ノ既往ノ利益ヲ七分ダカラ三千五百
圓トシテ、昭和六年十二月三十一日以前
三箇年間ガ先づ一割儲カッタモノトシテ、ソ
レカラ昭和十一年ノ十二月三十一日以前ノ

議デ大藏大臣ニ伺ツタ時ニ、個人ノ資本金ト
云フモノハ中々分ラナイノダ、分ラナイカ
ラ已ムヲ得ズ資本金ヲ見ズシテ、其利益ノ
方カラ見タノダ、斯ウ云フヤウナ御説明モ
アリマシタケレドモ、或ハソレモ或ル程度
マデ巳ムヲ得ナイカトモ思ヒマスルガ、私

茲ニ二ツ三ツ色々ナ錯綜シタ問題ヲ提出シ
テ、大藏當局ノ御考慮ヲ煩ヘシタイト思
フ、例ヘバ法人ガ資本金五万圓ト云フコト
ニ致シマシテ、是ハ今ノ積立金トカ繰越金ト
カサウ云フモノハ此次ニ移シマシテ見ナイ
コトニ致シマシテ、資本金ダケ五万圓、個
人デモヤハリ資本金五万圓トスル、或ハ私
ガ先程言ツタ通りニ、個人ノ方ガ能率ガ好
イノデアリマスカラ、其場合ニハ四万五千
圓位ニ見タ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、サ
ウスルト却テ計算ガヤヤコシクナリマスカ
ラ、同ジ資本金五万圓デ、會社ト個人ト二
ツ店ヲ並ベテ同ジ仕事ヲヤツテ居ルモノガ
アルト致シマシテ、是ハ例ヘドウデモ宜イノ
デアリマスガ、私ハ分リ易クスレバ、ドレ

ダケノ稅金ヲ出シタラ宜イカト云フ場合

ニ、甲ノ方ノ既往ノ利益ヲ七分ダカラ三千五百
圓トシテ、昭和六年十二月三十一日以前
三箇年間ガ先づ一割儲カッタモノトシテ、ソ
レカラ昭和十一年ノ十二月三十一日以前ノ

三箇年間ガ二割儲カッタモノトスル、ソレカ

ラ税ヲ適用サレルモノハ一割、二割、三割、
斯ウ云フヤウナ例デ、之ヲ法人ト個人ト兩
方竝ベテ一體税ハドチラノ方ガ重イカ輕イ
カ、是ハ法人ノ方ガ重クテ個人ノ方ガ輕イ
ト云フコトハ別ニ算盤ヲ彈ク必要ハナイカ
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

デモ作ツテ税ヲ免レタラ宜イデヤナカト云
フ結論ニ走ラナケレバナラヌヤウナコトニ
ナリハシナイカト思フノデアリマス、隨分
ト云フコトハ別ニ算盤ヲ彈ク必要ハナイカ
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

ウデアリマスカラ、諄イヤウデスケレドモ
サウ云フコトニ付テ御示シヲ願ヘレバ幸ト
思ヒマス

○大矢政府委員 臨時利得税ニ於テ、法人
ニ關シテハ資本ノ關係ヲ見ル、個人ニ關シ
テハ資本ノ關係ヲ見ナイ、隨テ法人ト個人
トノ間ニ於テ彼此負擔ノ不權衡ヲ來ス場合
ガアルデハナイカト云フコトハ、昭和九年
ニ此臨時利得税法案ガ議會デ審議セラレタ
場合ニ屢々論議セラレタ問題ダト存ジマス、
法人ニ於テハ御承知ノ通リ拂込資本金、各
種ノ積立金、後期繰越金ト云フモノノ増減
等ハ一見明瞭ニ確認シ得ラレルノデアリマ
シテ、何人モ是ハ疑ナク計算ガ出來ルノデ
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

デモ作ツテ税ヲ免レタラ宜イデヤナカト云
フ結論ニ走ラナケレバナラヌヤウナコトニ
ナリハシナイカト思フノデアリマス、隨分
ト云フコトハ別ニ算盤ヲ彈ク必要ハナイカ
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

ト云フコトハ、到底實行ガ出來ナイノデア
リマス、是ハ一ツ十分御諒解ヲ願ヒタイト
ナリハシナイカト思フノデアリマス、隨分
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

デモ作ツテ税ヲ免レタラ宜イデヤナカト云
フ結論ニ走ラナケレバナラヌヤウナコトニ
ナリハシナイカト思フノデアリマス、隨分
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

ト云フコトハ、到底實行ガ出來ナイノデア
リマス、是ハ一ツ十分御諒解ヲ願ヒタイト
ナリハシナイカト思フノデアリマス、隨分
ト思ヒマス、併シ此例ヲ今度ハ資本金ヲ法
人ガ十万圓、個人ガ十万圓トシテ、是モヤハ
リ一割、二割、三割ト云フヤウナ數字デニツ
掲ゲテ見ル、此方ニハ控除額ガドウダトカ
色々細カイ規定ガアリマスガ、サウ云フコ
トモ考ヘナケレバナリマスマイ、或ハ法人
ノ資本金十万圓以下ノ時ニハ百分ノ三十ガ
百分ノ二十五ニナルト云フヤウナ點モ考慮
シナケレバナラヌト思ヒマスガ、是モドチ
ラカト云ヘバ法人ノ方ガマダ重イノデハナ
イカ、是ハ一寸私共ニハ計算ガ分リマセヌ、
私ハ斯ウ云フヤウナ例ヲ出シテ甚ダ恐入ル
ケレドモ、何カ之ニ付テ大藏當局ハ一目瞭
然ニ、斯ウ云フヤウナ問題ヲ計算ヲシタモ
ノガ御アリデセウカ、設例ヲ以テ計算ヲ聞
クコトハ甚ダ失禮カト思ヒマスガ、私ハ斯
ウ云フコトヲ言ヒタイノデス、十万圓位ノ收
入ニ對シテ税金ヲ課セラレル場合ニハ個人
ハ籠棒ニ多クノ税ヲ課セラレル、尤モ十万圓
以上儲ケルト云フヤウナ個人ハ自分等ハ餘
リ想像シマセヌガ、結局サウ云フモノハ會社

轉シナケレバ、個人デハ十万圓ノ儲ケハ出
來ナイダラウト思フノデアリマス、ソレニ
モ拘ラズ、個人ノ方ニナリマスルト、十万
圓カラ五千圓ヲ引イテ九万五千圓ノ百分ノ
二十取ラレルノデアリマスカラ、丁度一万
九千圓取ラレル、斯ウ云フヤウナ例ハマア
極端ナ例カモ存ジマセヌガ、私ノ今言ッタヤ
ウナコトハ間違デナイデセウカ、一應念ノ
爲ニ確メテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 新規開業ノモノニ關スル
限リ御示シノ通りノコトガ起ルト思ヒマス
○宇賀委員 ソレデハ一體此利得税ヲ納メ
ル法人ト個人トノ割合ハ私ハ——個人ノ方ガ
一千万圓ノ利得税ヲ納メルト云フ數字ヲ見タ
コトガアルノデアリマスガ、其一千万圓納
メル個人ハ凡ソドノ位ノ人數デアルカ、其
ガ一體何人位アリマセウカ

○大矢政府委員 昭和十二年分ノ個人臨時
利得税ニ付キマシテハ、納稅人員ハ一万五千
五百八十人ニナッテ居リマス、其中稅額一万
圓以上ノ納稅者ハ僅ニ六十人足ラズトナッ
テ居リマス

○宇賀委員 先程政府委員ノ御説明ニ依リ
マスト、法人ノ利得ヲ計算スル場合ニ於テ
ハナカラウカ、斯ウ思ッテ居リマスガ、此
點ニ付テハ如何デアリマセウカ

利得ト看做スト云フコトデアリマスガ、是ハ
當然ノコトデアルト思フ、併ナガラ其總損
金ノ中ニハ固定資產ノ銷却ト云フモノモ十分
ニ考慮サレテ居ルヤウニ思ハレマス、ソレ
カラ又自分ノ資本ヲ運用スルノデハナクシ
テ、他所カラ資本ヲ借リル、又社債ヲ起ス
ト云フヤウナ場合ニハ、其社債ノ利子ナド
モ全部總損金ノ中ニ含マレテ居ルヤウニ思
フ、ソレデアリマスカラ法人ノ方ノ利得ヲ
計算スル場合ニハ、是ハ先程政府委員ノ御示
シノ通りニ洵ニ一眼瞭然デ、何等疑ガ起リ
マセヌ、所ガ個人ノ方ニナリマスト、今ノ臨
時利得税デハナクシテ、所得ノ計算或ハ營
業収益税其他ノ計算ノ場合ニ、ドウモ總利益
金カラ必要ナル經費ヲ引クト云フ立前ヲ大
藏省主稅當局ガ執シテ居ル爲ニ、自分が折
角例ヘバ金庫ナラ金庫ト云フ必要ナル備
品、其他固定資產ニ屬スベキモノヲ買ツテ來
テモ、其年々ノ銷却ト云フモノハ見込マレナ
イノデ洵ニ困ツテ居ルト云フ話ヲ度々聞イ
テ居ル、如何ニモ是ハ同情スベキ點デアル、
將來ハヤハリ斯ウ云フ必要ナル備品費其他
固定資產ニ屬スルモノノ銷却ハ、相當必要
ナル經費ト云フ中ニ御認メニナルノガ本當

モザイマス、併ナガラ個人ノ場合デモ減價
ト云フノハ、少シ御趣旨ニ悖ルヤウナ氣
味ハアリマセヌカ

○大矢政府委員 個人ニ於キマシテハ大體
減價銷却ヲ認メテ居ナイノハ御話ノ通リデ
ルト云フノハ、少シ御趣旨ニ悖ルヤウナ氣
味ハアリマセヌカ

○大矢政府委員 個人ノ營業者ノ中ニモ御
話ノ通リ帳簿組織ガ完備シ、金錢ノ出入、
營業者ガ帳簿組織モ漸次完備シテ來マシテ、
毎年末ノ各種ノ資產ヲ掲ゲ、既往ニ於テド
レダケ銷却シテ居ルカト云フコトガハッキ
リシテ來ルヤウニナレバ、漸次個人ノ方ニ
モ減價銷却ヲ認メル範圍ヲ擴張シテ行クベ
キデハナイカト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 只今ノ御話ヲ聽キマスト、營
業用ノ備品其他ガ區別シニクイカラヤラナ
イ、斯ウ云フコトデアリマシテ、是モ或ル
程度マデ稅務當局ノ苦心ヲ諒ト致シマスガ、
只今モ申上ゲマシタ十万圓モ利得ノアルヤ
ウナ個人收入、是ハ資本モハツキリシテ居
ルダラウト思ヒマスシ、店ナドモ住宅ナド
ノデハナイカト存ズル次第デアリマス

○宇賀委員 之ヲ押問答ヲヤッテ居テモ致
シ方ゴザイマセヌ、他ニマダ私ノ後ニ御伺
スル人モアルダラウト思ヒマス、是ハ曩ニ
政府當局自ラ認メテ居ル通り、今度出來タ
案ハ、ズット昔カラ營業ヲシテ居ル會社ニハ
全ク好都合ノ稅法デゴザイマス、例ヘバ鐘
紡デスガ、資本金五千万圓、積立金一億圓
モアルト云フヤウナ會社デアルト、假令四

割儲ヶヨウガ、五割儲ヶヨウガ、大シテ税
金ヲ拂ハズニ濟ムト云フヤウナコトニナリ
マスガ、新シイ會社デ仕事ヲヤラウト云フ
ト、偶ニ割位ノ利益ヲ得テモ驚クベキ程ノ
稅額ヲ取ラレルコトニナル、是ハ新シイ會
社ヲモウ少シ何トカ保護スルヤウナ條文ハ
何處カニゴザイマセヌカ

○大矢政府委員 是ハ本稅ノ立前ト致シマ
シテ、過去ノ一定ノ期間ノ利益ノ平均ニ
對シテ課稅ヲ受ケル年度、或八年分ノ利益
ガ增加シタモノニ對シテ課稅スル、斯ウ云
フコトニナツテ居リマスノデ、此根本ノ趣旨
ヲ認メル以上ハ、斯クセザルヲ得ナイカト
思フノデゴザイマス、ソレカラ鐘紡ノ御話
ガゴザイマシタガ、鐘紡ハ澤山ノ積立金ヲ
持ツテ居ルコトハ仰セノ通リゴザイマス
ガ、昭和四年、五年、六年ノ臨時利得稅法
ノ基準トシテ居ル年間ニ於テハ、ヤハリ其
平均利益ガ七分ヨリモ下デハナカッタラウ
カ、斯ウ存ジテ居リマス、是ハ獨リ鐘紡ノ如
キ舊クカラアル會社ヲ非常ニ有利ニシテ居
ルト云フコトハナイト私ハ存ジテ居リマス

○宇賀委員 私方唯鐘紡ト云フヤウナ名前
ヲ指シテ申上ゲタコトハ甚ダ不謹慎デアリ
マシタ、ソレデアリマスカラ鐘紡トハ申シ
マセヌ、唯昭和六年ヨリズット前カラヤツテ

居ツテ、積立金ヲウント持ツテ居ル、繰越金
ヲウント持ツテ居ルト云フヤウナ會社ハ、大
シタ稅金ヲ納メズニ濟ムケレドモ、新シク
仕事ヲ始メタ人ハ、同ジ仕事ヲヤツテモ、少
シ利益ヲ得ルト臨時利得稅ハ餘計取ラレル
コトニナリマスト、或ハ今度ノ軍需工業ナ
ドニ付テ、軍需工業會社ヲ擴張スルヤウナ
場合ニ於テ、差支ヲ來スヤウナコトハナイ
デゴザイマセウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○大矢政府委員 此臨時利得稅ニ於キマン
テ資本金ト云フノハ、最初ニ申上ゲタ通り
拂込資本金及ビ積立金、後期繰越金ノ總テ
ヲ合算シテ計算スルノデゴザイマシテ、現

實ニ其事業ニ投下サレテ運用セラレテ居ル
ウ云フ見地カラ致シマスレバ、新シイ會社
デ一千万圓ノ拂込デ直グ仕事ヲ始メタモノ
ト、舊來カラアル會社デ五百万圓ノ資本ニ
付テ、尙ホ二三御伺致シタイコトモアリマ
スガ、サウ云フ稅法ノ立前一點張リデ擊退

○宇賀委員 私ハ此臨時利得稅法ノコトニ
ニ於テ内規ヲ設ケテ、全國ノ稅務署ノ取扱
ガ彼此權衡ヲ得ルヤウニ期シテ居ル次第デ
アリマスガ、ソレハ取扱上ノ内規デゴザイ
マシテ、性質上公表スルノモ如何カト存ジ
マシテ差控ヘテ居ル次第ゴザイマスルガ、
巷間一二ノ著書等ニモ相當載ツテ居ルヤウ

近ノ事情ニ適應セシメルヤウニ或ル程度ノ
緩和ノ方法ヲ講ジテ居ル次第アリマス
○宇賀委員 此固定資産ヲ銷却スル年限ニ
付テハ、同ジ建物ト云ツテモ鐵筋「コンク
當リノ金ノ掛カリ工合ニ於テモ、同ジ木造
ト言ツテモ色々違ヒマスシ、其モノノ實際ニ
合フヤウナ固定資産ノ銷却率ヲ決メルコト
ハ、中々困難ナコトデアラウト私共モ考ヘ
テ居リマス、併ナガラ電氣事業法ナドヲ見
マスルト、水力發電工事ノ基礎工事ニ付テ
ハ五十箇年トカ——一寸此數字ハ違フカモ
知レマセヌガ——或ハ火力發電ノ機械ニ付
テハ三十箇年、何ノ機械ニ付テハ二十箇年
トカ云フヤウナ、大體標準ニナルモノガ決
メテアリマスガ、若シモ大藏當局ガ自ラ之
ヲ以テ適正ナリト信ズルダケノ勇氣ガオ有
リニナルナラバ——或ル著書ノ中ニ書イテ
アルサウデスガ、私ハマダ不幸ニシテ見マ
セヌデシタガ、サウ云フモノガオ有リニナ
ルナラバ此際ソレヲ公表ナサツテ、此程度ノ
銷却ヲ斯ウ云フ仕事ニ付テハスルノダト云
フコトヲ豫メ一般ノ人ニ知ラセテ置イタナ
ラバ、自分ノ所ノ固定資産ノ銷却費ハ幾ラ
アルノダ、隨テ利益ハ幾ラ出ルノダト云フ
コトガモットハッキリシテオ互ニ便利デハナ

ト言ツテモ色々違ヒマスシ、其モノノ實際ニ
合フヤウナ固定資産ノ銷却率ヲ決メルコト
ハ、中々困難ナコトデアラウト私共モ考ヘ
テ居リマス、併ナガラ電氣事業法ナドヲ見
マスルト、水力發電工事ノ基礎工事ニ付テ
ハ五十箇年トカ——一寸此數字ハ違フカモ
知レマセヌガ——或ハ火力發電ノ機械ニ付
テハ三十箇年、何ノ機械ニ付テハ二十箇年
トカ云フヤウナ、大體標準ニナルモノガ決
メテアリマスガ、若シモ大藏當局ガ自ラ之
ヲ以テ適正ナリト信ズルダケノ勇氣ガオ有
リニナルナラバ——或ル著書ノ中ニ書イテ
アルサウデスガ、私ハマダ不幸ニシテ見マ
セヌデシタガ、サウ云フモノガオ有リニナ
ルナラバ此際ソレヲ公表ナサツテ、此程度ノ
銷却ヲ斯ウ云フ仕事ニ付テハスルノダト云
フコトヲ豫メ一般ノ人ニ知ラセテ置イタナ
ラバ、自分ノ所ノ固定資産ノ銷却費ハ幾ラ
アルノダ、隨テ利益ハ幾ラ出ルノダト云フ
コトガモットハッキリシテオ互ニ便利デハナ

イカト思ヒマスルカラ、ドウカ大藏當局ガ
勇氣ヲ出シテ、實際サウ云フ立派ナ内規ガ
アツテ、今日既ニ何十年間實施シテ妥當公正
ナリト云フ確信ガオ有リニナルナラバ、此
際一ツ公表ヲ願ツテハ如何ナモノデセウカ、
御意向ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 減價銷却ノ是認範圍ニ付
キマシテハ、長イ間施行セラレテ居リマス
ノデ、關係會社方面ニ於テハ、其關係スル
範圍ニ於テハ大體御分リニナツテ居ルコト
ト存マジス、尙ホ此際ニ勇氣ヲ出シテ公表
シタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、
モウ少シ考ヘテ見タイト存ジマス

○宇賀委員 私ハ誰モ知ラナイナラバ之ヲ
深ク追究シタクハナイケレドモ、一部ノ人

ハ知ツテ居テモ一部ノ人ハ知ラナイ、殊ニ私
共ハ事業ヲシテ居リマセヌガ、私ガ若シ株

式會社デモ持ヘテ、新米デ今カラ「スター
ト」シテ事業デモヤラウト云フ場合ニハ、
ハ、私今ハッキリ記憶シテ居リマセヌガ、恐

ラク大正九年所得稅法ノ大改正ヲヤツタ頃、
トナコトヲ知ラナケレバ私ハエライ損ヲ被

今ノコトヲ知ラナケレバ私ハエライ損ヲ被
リハシナイカト思フ、總テ稅法ノ基礎トナ
ル利益ヲドウ云フ風ニシテ出スカト言ヘ

バ、是ハ株式會社ナラ總收入金カラ總損金
ヲ引ク、其總損金ノ中ニハ固定資產ノ銷却

却未濟ノモノモ此際銷却ショウト云フヤウ
現在ノ會社ノ中ニハ、儲カラナイ時ニハ固

定資產ヲ銷却シナイデ利益ノアルヤウナ風
ニ出スモノモナイコトモアリマセヌ、又餘
リ儲カツテ困ル時ニハ固定資產ヲウント引
下ゲテ、利益ヲ成ベク少クスルヤウナコトモ
アリマセウガ、併シソレハ世間ニ對スル考
課狀ナラバ一部サウ云フコトモ出來ルカモ
知レマセヌガ、恐ラクハ稅務署ノ炯眼ノア
ル方々ニ對シテサウ云フ誤魔化シヲヤッテ
モ效ガナイカラ、徵稅官吏ノ方ニ向ツテハ
サウ云フ不都合ナコトハナイグラウト思ヒ
マスルガ、斯ウ云フコトハ一般ニ國民トシ
テ心得サシテ置クコトガ私ハ公益上必要ナ
モノグラウト存ジマス、モウ一應此際執拗
イヤウデアリマスケレドモ公表シテ戴ケレ
バ有難イト思ヒマス

○大矢政府委員 此減價銷却ニ關スル内規
シテ事業ヲシテ居リマセヌガ、私ガ若シ株
式會社デモ持ヘテ、新米デ今カラ「スター
ト」シテ事業デモヤラウト云フ場合ニハ、
ハ、私今ハッキリ記憶シテ居リマセヌガ、恐
シナケレバナラスト云フコトハゴザイマセ
ルノハ、此大藏省ノ内規其モノト常ニ一致
シナケレバナラスト云フコトハゴザイマセ
ヌデ、其會社ノ營業ノ狀況或ハ將來ニ對ス
ル見透シ其他ニ於テ適切ニヤツテ行カレテ
宜カラウト存ジマス、唯稅務ノ執行上ニ於
テ稅ノ負擔ノ上ニ於テ各會社間ノ權衡ヲ
圖ル爲ニ、大體ノ内規ヲ設ケテ步調ヲ一ニ
シテ居ルト云フ次第デゴザイマス

○宇賀委員 私ドウモ一寸能ク呑込メナイ
ノデアリマスガ、此減價銷却ト云フコトハ
中々大切ナモノデゴザイマシテ、會社ガ或
ル場合ニ利益ガ無イノニ、利益ガアルヤウ
ニ考課狀ヲ作ル場合ニハ、當然誰ガ見テモ

固定資金ノ銷却ヲシナケレバナラヌヤウナ
場合ニ、ソレノ三分ノ一ナリ五分ノ一ナリ
銷却シテ置ク、サウシテ置イテ如何ニモ儲
カツタヤウナ考課狀ヲ出ス、ソレハ稅務署ノ

カモノモ相當出テ來マシテ、從來ノ内規ヲ
其儘適用スルトアチコチニ困ルト云フヤウ
ナ聲モゴザイマスノデ、先程申上ゲマシタ
通リ、昨年四月以來其一部ニ付テ修正ヲ加
ヘマシテ、實情ニ副フヤウニ致シマシタ、
ソレデ全體ヲ通ジマシテ大體會社ノ方デ計
算サレテ居ラル、モノハ、普通ノ場合ハ是
認サレテ居ルト私ハ存ジテ居リマス、尙ホ
會社ノ堅實性ヲ期スルガ爲ニ銷却ヲ致サレ
ルノハ、此大藏省ノ内規其モノト常ニ一致
シナケレバナラスト云フコトハゴザイマセ
ヌデ、其會社ノ營業ノ狀況或ハ將來ニ對ス
ル見透シ其他ニ於テ適切ニヤツテ行カレテ
宜カラウト存ジマス、唯稅務ノ執行上ニ於
テ稅ノ負擔ノ上ニ於テ各會社間ノ權衡ヲ
圖ル爲ニ、大體ノ内規ヲ設ケテ步調ヲ一ニ
シテ居ルト云フ次第デゴザイマス

御方ハ内部ノ帳面ヲ見マスカラソレデ御分
リニナリマセウガ、併ナガラ稅務署ト雖モ
ヤハリソレヲ規定通りニ銷却スレバ利益ガ
ナクナル、利益ガナクナレバ利得稅ナリ收
益稅ナリ或ハ所得稅ナリ、サウ云フモノハ
取レナクナルヤウニナリマスカラ、必要ガ
ナイ場合ニハ稅務署ハ大目ニ見テ居シテ、今
度澤山引イタ場合ニハウント極メ付ケルヤ
ウナ、サウ云フ弊害ハ一體稅務署ニハゴザ
イマセヌデセウカ、斯ウ云フコトニ付テ私
ハ大變ニ心配スル一人ナンデアリマス

○大矢政府委員 會社ガ銷却シテ居ナイモ
ノヲ、稅務署ガ進ンデ銷却サセルヤウニスル
ノハ如何カト存ジマス、會社ガ銷却シタ際
ニソレヲ認メルト云フ取扱ヲ致シテ居リマ
ス、ソレカラ銷却ガ度ヲ過スヤウナ場合ニ
ハ、標準ニ依リマシテ其限度ヲ決メテ行ク、
斯ウ云フ風ニ致シテ居ル次第アリマス

○宇賀委員 少シ執拗イヤウデアリマスケ
レドモ、稅務署ガ自分ノ都合カラ、當然大
藏省ノ公正妥當ナリト認メタ内規ニ較ベテ
銷却不足ノモノガアツテモ、其時ニハ知ラナ
イ顔ヲシテ見テ居ル、ソレカラ或ル時ニ銷
却不足デアルカラ此次ノウント儲カツタ時
ニ其分マデ加ヘテ銷却ショウト云フ時ニハ、
餘計銷却シ過ギルト言ツテ咎メラレルヤウ
ニ思ヒマスガ、サウ云フコトハナイデセウ
カ
モノヲ銷却シテ居ナイ、所謂銷却不足ノモ
ノヲ後ニナッテ追駆ケテ銷却スルト云フ場合
ニハ、ヤハリ一定ノ範圍ナラバ之ヲ認メテ
居リマス、ソレカラ當期ニ於テ度ヲ過シタ
銷却ヲヤツテ居ルガ、翌期以降ニ於テ餘リ利
益が出ナカッタ、隨テ銷却ヲシナイト云フ場
合ニ於キマシテモ、一定ノ銷却ノ範圍ノモ
ノハ翌期以降ニ於テ順次銷却ヲ認メテ行ク
ト云フ扱ヒヲ致シテ居リマシテ、長イ眼デ
見レバ、會社ノ計算ト大體一致スルヤウナ
方法ヲ執ツテ居リマス

○宇賀委員 是ハ實際ノヤリ方デアリマス
カラ此點ハ打切りマス、其次ニ私ハ物品稅
ニ付テ少シク御伺致シテ見タイト思ヒマス、
先づ第一ニ物品稅ガ、北支事件特別稅ノ時
ニハ第一種ノ甲類ノ一、二、三、四、五ト
云フモノニ付キマシテハ、百分ノ二十ト云
フ稅額デアリマシタ、ソレカラ第二種ノ甲
類ノ一、二、三、四、五ト云フモノニ付キマシ
テモ、ヤハリ百分ノ二十デアツタ、今回之ヲ
コトハ御答辯出來ナイト思ヒマスガ、斯ノ
如クニ半年モ經タナイ内ニ、二割ノ稅ヲ取
テ居タモノヲ一割五分ニ下ゲルト云フコト
ハ、私ハ大藏省ヲ攻撃スル譯デハナイケレ
ドモ、當局ノ無定見ヲ暴露シタモノデ、バナ
ガラ稅ガ安クナルコトハ、是ハ安クナツテモ

タル製品」トスウ書イテアツタモノガ、今度
ハ唯「金若ハ白金」ト云フ風ニ變リマシタ、ソ
品及附屬品」ト云フモノガ今度加ハッタダケ
デ、先づ兩法ハ別ニ内容ニ於テ何等差違ガ
ナイヤウニ、私共ニハ見エルノデアリマス、
ソレニモ拘ラズ、前ニハ二割ノ稅ヲ取リマ
シタノガ、昨年ノ八月此法案ヲ作リマシテ
ソレヲ實施スルコト未ダ半箇年餘、一體稅
額ガ舉ツタノカ學ラナイノカ、昨日私ハ眞先
ニ大藏當局ニ、臨時租稅增徵法ニ依ル所ノ
二億六千何百万圓ノ稅額ノ徵收狀況ハドン
ナモノカト云フコトヲ聞キマシタケレドモ、
マダ分ラヌト云フコト御示シヲ願ヘナイ、
其時ニヤハリ續ケテ物品稅ノ方ノ内容モ、
一體ドノ位徵收サレテ居ルカト云フコトヲ
聞クベキデアツタケレドモ忘レテ聞カナカツ
タ、恐ラク其時私ガ聞イテモ、是モ尙ホ
ホヤくデスカラ、幾ラ納マツタ云フヤウナ
コトハ御答辯出來ナイト思ヒマスガ、斯ノ
シテハ一割五分ニ致シタノデアリマス、是
ハ北支事件ガ起ツタ當時取敢ズ本稅ヲ施行
シテ、而モ昭和十三年ノ三月マヂトシテア
リマスカラ二割ノ課稅ヲ致シマシタガ、
其後事變ノ進展ニ伴ツテ、今後當分ノ間之ヲ
施行スルコトニナリマスノデ、短期間ノ施
行ト違ヒマスカラ、一應施行ノ實績ニモ鑑
ミテ幾分輕減スルノガ安當デハナイカト考
ヘマシテ、斯ウ致シマシタ
○宇賀委員 既往ノ實績ニ顧ミテ之ヲ輕減
シナケレバナラヌト云フノハ、ヤハリ二割

デハ税ガ重過ギテ取レナイカラ引下ゲタモ

ノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シウゴザイマ

セウカ

○大矢政府委員 物品税ノ徵收狀況ニ付テ

ノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ實ハ昨年ノ

八月以降施行シタノデアリマスガ、九月十

月、上海ノ戰況ガ思ヘシク進展シナイ時分

ニハ、當初豫想シテ居タヨリモ是等ノ奢侈

的ト申シマスカ、物品ノ賣上モ比較的少カッ

タノ戦況ガ思ヘシク進展シナイ時分

ニハ、當初豫想シテ居タヨリモ是等ノ奢侈

的ト申シマスカ、物品ノ賣上モ比較的少カッ

マスカ

○高橋委員長 宜シウゴザイマスガ、午後

モ開キマスカラ、午後ニ繼續サレタラ如何

デスカ

○宇賀委員 私ハ少クモ一時間半位聞キタ

イト思ヒマス

○高橋委員長 ソレデハ午後ニ願ヒマス

○松隈政府委員 先程宇賀委員ヨリ御尋ノ

アリマシタ現行第三種所得稅ノ免稅點千二

百圓ヲ八百圓ニ引下ゲタ場合ニ於キマスル

納稅人員ノ增加、茲ニ第三種所得稅額ノ増

加ニ付テ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、人

員ト致シマシテハ約九十万人增加致シマス、

今ノ狀況デ見マスト、當初ノ豫想マデノ稅

收入ハ或ハ得ラレヌカト思ハレマスケレド

モ、左シテ著シイ減收モ來スコトハナカラ

ウト存ジテ居リマス、唯稅率ノ點ニ付キマ

シテ、二割ト云フノハ幾分高過ギルデハナ

イカト云フ感ジガシテ參リマシタ、外國ノ

事ヲ申上ゲテ恐入リマスケレドモ、外國ニ

於テモ實ハ二割ト云フノハ殆ド其例ガ無イ

ノデゴザイマス、之ヲ將來當分施行スルト

云フコトニ致シマス以上ハ、此際多少率ヲ

輕減シタ方ガ妥當デハナカラウカ、斯ウ存

ズル次第デアリマス

午後一時五十七分開議

○高橋委員長 ソレデハ午前ハ是デ休憩致

シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會致シマス

致シマス——宇賀君

○宇賀委員 物品稅ニ付キマシテ尙ホ質問

ヲ致シマス、今回ノ物品稅ノ數ハ非常ニ多

クナリマシテ、隨分中ニハ細カイ日用品ニ

マデ課稅スルコトニナツテ居ルヤウデアリ

マス、一體稅ト云フモノハ人民ノ購買力ヲ

奪フモノデアリマスカラ、元來カラ言ヘバ、

タノハ、昨日初メテ戴イタヤウナ始末デア

ヤウデアリマス、私共ガ此物品稅ヤ、入場

百圓ヲ八百圓ニ引下ゲタ場合ニ於キマスル

アリマシタ現行第三種所得稅ノ免稅點千二

ニモット之ニ代ヅ徵稅シ易ク、稅務署ノ費

用ヲ澤山掛ケズニ樂々ト取レルヤウナ稅ガ

コトヲ一ツ考ヘテ見タイト思フノデアリマ

ス、私ノ聞ク所ニ依リマスレバ、大藏當局

モ此案ヲ決定スル迄ニハ中々時間ガ掛ツタ

ヤウデアリマス、私共ガ此物品稅ヤ、入場

税ナドノ内容其他ニ付テ細カイ資料ヲ戴イ

タノハ、昨日初メテ戴イタヤウナ始末デア

ヤウデアリマス、ソレハ何回トモナク改案サレテ慎

加ニ付テ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、人

員ト致シマシテハ約九十万人增加致シマス、

税額ノ增加ハ約八百万圓デゴザイマス、ソ

レカラ尙ホ先程退職給與金ノ課稅ニ當ツテ、

五千圓以上ノ受給者ノ數ハ主稅局長カラ申

上ゲタノデアリマスガ、五千圓以下ノモノ

ニ付テノ調モゴザイマスノデ、念ノ爲ニ五

千圓以下ノ受給者ノ人員ヲ申上ゲマスト、

昭和九年ニ於キマシテハ八万七千人、昭和十一

年ニ於キマシテ十五万八千人程ニナツテ居

他ノ日用品、斯ウ云フ風ニ多數稅ヲ取ラレ

セラレザル物品マデモオ付合ヲシテ騰貴ス

セラレザル傾向ガアツテ、是ハ洵ニドウモ困

タルヤウナ傾向ガアツテ、是ハ洵ニドウモ困

タルモノデアル、酒、煙草ヲ初メトシテ、其

チニソレダケ騰貴致シマス、ノミナラズ本

會議デモ此點ガ問題ニナリマシタガ、課稅

セラレザル物品マデモオ付合ヲシテ騰貴ス

セラレザル傾向ガアツテ、是ハ洵ニドウモ困

タルモノデアル、酒、煙草ヲ初メトシテ、其

チニソレダケ騰貴致シマス、ノミナラズ本

會議デモ此點ガ問題ニナリマシタガ、課稅

スガ、私自身トシマシテ考ヘテ見マスレバ、

其點ニ付テハ大藏當局ノ苦心ヲ諒ト致シマ

スガ、私自身トシマシテ考ヘテ見マスレバ、

是ダケノ日用品ヤ入場料マデ稅金ヲ徵ルナ

ラバ、此位ノモノハモット外ニ易々ト徵

モノガ手近ニ幾ラデモアルノデハナイカト

考ヘテ居リマス、此點ニ付テノ大藏當局ノ

御意見ヲ一通リ承リタイト思ヒマス

○太田政府委員 物品稅ノ品種ガ多イト云

フコトハ、皆様方カラ再三承ル所デゴザイ

マスガ、是ハ私別ニ理窟ヲ附ケテ申上ゲル譯

デハゴザイマセヌガ、物品ヲ捉ヘテ行ク上

ニ於キマシテ、ドウ致シマシテモ、今日ノ

産業ノ形態ト云フモノガ、非常ニ専門的ニ

ナツテ行クト申シマスカ、物品ガ細カニ分類

サレルト云フコトト、職業ノ種類ト言ヒマ

○宇賀委員 委員長、續ケテ宜シウゴザイ

スカ、製造ナリ販賣ナリノ種別ガ非常ニ多
ラウト思ヒマス、種別論ヲ致シマスト、例
ヘバ個人ノ營業収益稅ニ致シマシテモ唯營
業収益稅ト申シマシテモ十九種カラ成ツテ
居リマス、品種ヲ分ケテ物品稅ヲ課ケルモ
ノヲ捉ヘルト云フコトニナルト、茲ニ掲ゲ
テアルヤウニ更ニ分類ガ起ツテ來ル譯デア
リマシテ、簡單ニスルト云フ譯ニ行キマセ
ヌノデ、斯様ニ品種ガ多クナルト云フコト
ハ、丁度關稅定率法ノ「タリフ」ト同ジ關係
ニアルカト思ヒマス、品種ノ多イト云フコ
トダケハ、私ハサウ云フ意味デ御諒解ヲ願
ヒタイト思ヒマス、物價ニドウ云フ影響ヲ
及ボスカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ
大藏大臣カラモ、又主稅局長カラモ度々申
上ゲタコトト思ヒマス、全體今度課稅スル
物品ト云フモノハ、全日本ニ於ケル消費量
ノドンナ部分ニ當ルカト云フコトハ、是ハ
第一ノ論點トシテ考ヘナケレバナラヌコト
デアリ、私共ノ方デモソコニ多少ノ見當ヲ付
ケテ見タノデアリマスガ、私共ノ見タ所ニ
依リマスレバ達觀致シマシテ、國民ノ全體ノ
所得、或ハ貯蓄ト云フヤウナモノカラ達觀
致シマシテ、ソレガドンナ風ニ消費サレテ
居ルカト云フ其消費ノ全體ノ量ノ中デ、茲

ニ掲ガラレタ物品ハドノ位ノ消費量ニナル
カ、其消費量ガ非常ニ多ケレバ特ニ物價問
題トシテハ重大ナ要素ヲ持ッテ來ルモノト
思ヒマス、私共ノ見タ所ニ依レバ、一般消
費ノ中ノ一割ハオロカ、其半分ニモ及バナ
イ、即チ分量ト致シマシテハ、何故サウ云
フヤウニ私共ガ觀察ヲスルカト言ヘバ、日
用品ト一言ニ申シマシテモ、價格ニ於テ之
ヲ切ッテ居ル、品種ニ於テ贅澤品ト日用品ト
區別ヲシテ、其上價格デ切ッテ居リマスル關
係上、全體トシテハ、此物品稅ノ課ルモノ
ハ、ソウ非常ニ多イモノデハナイヤウニ思フ
ノデアリマス、勿論宇賀サンノ御示シニナリ
マシタ通り、是ガ他ノ物價ニ強ク響イテ行
クト云フヤウナ場合ニハ、餘程注意ヲシナケ
レバナラヌ問題デアリマス、又他ノ一般ノ
物價ニ響クト云フコトガ決ッテ居レバ、斯ウ
云フ稅ヲ起スコトサヘ問題ナノデアリマセ
ウガ、私共ノ見タ所デハ、全國ニ於ケル
消費量ノ中デ、此稅ノ課ル品目其程度ト云
フモノハ、サウ非常ニ多クハナラナイデハ
ナイカ、何故カト言ヘバ、品種ハ多イガ、
其中デ價格デ切り、色々ナ差別ヲ付ケテ居
リマスルノデ、全體トシテ物價ニ關係スル
根本論ト致シマシテハ、御言葉程デハナ
イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、

更ニコンナニ品種ノ多イ、又物價ニモ響ク
危險性ノアルモノヲ選バズトモ、他ニ何カ
稅種ヲ選ンダラドウカ、是ハ今回ノ增稅案
ノ主眼トシテ第一ニ狃ヒマシタノハ、再三
吾々ノ側カラ申上ダマシタ通り、所得稅ヲ
中心トシ、直接稅ヲ狙ヒトシテ行キマシタ
モノデゴザイマスケレドモ、一般ノ負擔ノ
關係モ考ヘ、且ツ今マデ取上ゲテ來タ稅ノ
關係ナドカラ考ヘテ見マスト、色々ナモノ
ヲ漁ツテ見マシタガ、物品稅ハ此際ニ於キマ
シテ奢侈的ノモノデアルトカ、或ハ生活ノ
第二義的ノモノデアルトカ、日用品デアリ
マシテモ一定ノ價格以上ノモノデアルト
カ、サウ云フ點ニ於テ差別ヲシテ行キマシ
タナラバ、此際此時此時局ニ對シテ、負擔
ヲ願フコトハ然ルベキデハナイカ、他ノ稅
ニ付キマシテモ、新稅ハ別ト致シマシテ、
現在ノ稅ニ付キマンテモ一々檢討ヲ加ヘマ
シタガ、此際物品稅ヲ起スコトハ、斯様ナ
意味ニ於キマシテ私ハ國民ノ負擔力、擔稅
力ト云フ立前カラ、此際擴張スルコトガ然
ルベキデアルト考ヘタ次第アリマス

利取締合デ十分取締レルト云フ御言葉モ承
リマシタケレドモ、私共ハ只今ノ暴利取締
令ハ何ニモナラナイ、コケ威シノ一つノ方
法ダト思ッテ居リマス、其最モ適例ハ昨今問
題ニナリマシタ純綿絲ノ晒木綿、六十五錢
ノモノガ一圓五十錢レナックタ、大阪デ之ヲヤッ
テ、暴利取締令ヲ出スカト云ヘバ出サヌ、
サウシテ五錢下タトカ、公定値ヲ布イタト
カ云フ程生温ルイモノデアツテ、暴利取締
令ト云フモノハ何ノ役ニモ立タナイ、大體
物價ト云フモノハ一つノ釣合ヲ取ツテ居ル
モノデアリマシテ、或ル物價ガ騰レバ、ソ
レニ似タヤウナ物價モ騰ルノデアリマス、
ソレカラ税ガ或ル物ニ課カルト、成ベク税
ノ課カラナイ物ニ消費者ガ向ツテ行キマス、
サウスルト一時税ノ課カツタ物ハ非常ニ消
費ガ減ズル、サウシテ税ノ課カラナイ代用
品ニ消費者ノ嗜好ガ向フ、午前中私ガ申上
ゲマシタ物品税ノ第一種ノ甲類、第二種ノ
甲類ト云フモノハサツパリ賣行ガナクナッタ
ノデハナイカト申シマシタ所、サウダトハ
御返辭ヲ承リマセヌデシタガ、私ハサウ云
フ意味ニ取リマシタ、其當時税ヲ課ケラレ
タカラ、一時民衆ノ方デハサウ云フ税ノ課
合ハスト云フ方面ニ行キマシタカラ、一時

ハ豫定ノ收入ガ舉ラナカッタト云フ結果モ
大ニアルノデハナイカト思ヒマス、私共煙
草ノ專賣ヲヤツタコトモアリマスガ、或ル品
物ヲ騰ゲマスト、其當座引上ゲタ品物ガサツ
パリ賣レナイコトハ往々アルノデアリマス、
併シ煙草ノ消費ガ減ル譯デハアリマセヌ、
唯其嗜好ガ稅ノ課カラナイ方ニ移ッテ行ク
傾向ガアルノデアリマシテ、非常ニ配給ノ
困難ヲ感ズル點ヲ見出シタノデアリマス、
斯ウ云フ稅ハ餘程御注意ヲ要スル、——尤
モ注意ニ注意ヲ重ねタ上デ此數字ヲ御決定
水掛論ヲシテモ、實行シテ見ナケレバドウ
ナルカト云フコトハ分リマセヌガ、大體物
價ヲ騰貴サセル傾向ノモノデアルト云フコ
トハ、大藏當局ニ能ク銘記シテ戴キタイト
思フ、此點ニ付テ別ニ御説明ヲ求メマセヌ
ガ、斯ウ云フコトヲシテ、サウシテ稅務署
ノオ役人ヲ殖ヤシテ稅ヲ御徵リニナル、是
ハ中々煩雜ナコトデアッテ餘程骨ノ折レル
コトダラウト思ハレマス、併シ是モヤッテ見
タイト云フノダカラ、之ヲヤルノモ一ツノ
ヤリ方デアリマセウ、併シ私ハ先程申上ゲ
マシタ通リニ此位ナモノヲ御徵リニナルナ
ラバ、モウ少シ氣ノ利イタ、樂々ト徵レル
モノガ他ニモアリハシナイカト云フコト

ヲ自分で考ヘテ居リマスカラ、私ノ考ガ間
違ツテ居ルカモ知レマセヌガ申上ゲテ見タ
イト思ヒマス、其一ツシテハ此前問題ト
ナリマシタ競馬ノ馬券ノ賣上稅デアリマス、
是ハ既ニ皆様オ分リニナツテ居ル通り、入場
券以外ノ勝馬豫想ノ投票券ガ一枚二十圓ト
云フコトニナツテ居リマシテ、五大競馬ト言
ヒマスカ六大競馬ト言ヒマスカ、ソレノ一
箇年ノ馬券ノ賣上高ガ、凡ソ一億三千万圓
ト云フヤウナ驚クベキ數字ニナツテ居ルノ
デアリマス、之ヲ今ノ所デハ百分ノ八ヲ政
府ノ納付金ニ致シマシテ、一千万圓バカリ
納付スルコトニ豫算ノ上ニ計上サレテ居ル
ノデアリマスルガ、之ニ今ノ競馬俱樂部ガ
取ツテ居ル所ノ百分ノ七ヲ加ヘテ一割五分
ヲ政府ノ上納金ニスルナラバ、是デ二千万
圓位ノ上納金ガ得ラレルコトニナルノデア
リマス、是ハ何等ノ徵稅費モ要リマセヌ、
クナレバドンヽ花柳界ノ方ノ景氣ハ
モレマセヌケレドモ、追々景氣ガ好
上ル傾向ガアリマス、サウ云フ結果ト致シ
マシテ、待合ヤ料理店ヤ、或ハ貸座敷ト云
フヤウナ方面ニ使ハレル金ハ莫大ナルモノ
デアラウト思フ、之ニモウ少シ何トカ稅金
ヲ課ケレバ、二十錢ノ活動寫真ヘ入ッテ二錢
モ稅金ヲ取ラレルト云フ風ナコト迄シナク
テモ、樂ニ金ハ取レルダラウト思ヒマス、
私ハ臺北ノ知事ヲ致シマシテ、此稅ヲ徵ッタ
イ所マデオ漁リニナル點カラ見マスルト、
斯様ナ、活動寫真ヲ見ニ行ツテモ、十九錢マ

デハ免除サレルケレドモ、二十錢ニナルト
直グニ一割ノ稅ヲ取ルト云フ、コンナ細カ
イ所マデ規定サレルヨリハ、此處デ斯ウ云
フコトヲ言ツテ如何カト思ヒマスガ、隨分世
ノ中ニハ贅澤ナ事ヲシテ、一晚ニ三十圓モ
五十圓モ遊興費ニ使フ人ガアル、此方面ニ
モウ少シ活眼ヲ開いて稅ヲ御課ケニナツク
ラ宜イ、私ハ自分でモ經驗ガアリマスカラ
申シマスガ、確ニ是ハアリマス、今後軍需
ト云フヤウナ驚クベキ數字ニナツテ居ルノ
デアリマス、之ヲ今ノ所デハ百分ノ八ヲ政
府ノ納付金ニ致シマシテ、ドンヽ
ト金ヲバラ撒キマシテ、サウシテ一部ノ
者ノ懷口ガ好クナリマスレバ、今コソ多少
遠慮シテ儲カッタ金ヲ使ハズニ置キマシ
テ、銀行預金トカ郵便貯金ノ方ニ廻シタカ
ニ吾々ハ出シテ居ル、サウ云フ方面ニモウ
少シ御注意ヲ御向ケニナツタラドンナモノ
デアラウカ、ソレカラ第三ニ申上げテ見タ
イノハ、是ハマア一部ニ於テハドウカト思
ハレマスケレドモ、自分ノ信念デアリマス
カラ申上げマスルガ、ソレハ何ト申シマス
二万何千トカ、三万トカ云フ數デアル、其
中兵役ニ當ツテ入營スルオ方ハ其五分ノ一
カ——幾ラト云フコトハ私ハ存ジマセヌケ
レドモ、餘リ多カラザル數字ダラウト思フ、
サウスルト六分ノ五ナリ或ハ五分ノ四ノ
人ハ兵役ヲ免レルノデアリマス、私今回出
征兵士ノ家庭ヲ訪問シテ見マシタ所ガ、隨
分中ニハ家計ノ豊カデナイ所ノ人モ多數ア
ルヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ總
テノ兵役ニ行ツタオ方ハ、ドンナニ少ク計算

シテモ金錢上一年ニ二百圓ヤ三百圓ハ、行

カナイ人ニ比ベテ重ク負擔ヲシテ居ルノデ

アリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、兵役

ヲ逃レタヤウナ者ハ何トカ奉公ノ誠ヲ致ス

意味ニ於テ、各其負擔シ得ラレル範圍ニ於

テ一人前五十圓ナリ三十圓ノ金ヲ出スヤウ

ニシテ、ソレヲ國防稅トテモ名ヲ付ケルカ、

或ハ露骨ニ申シマスレバ、兵役免除稅ト云

フ名前ニナッテハ一寸ヲカシク感ズルカモ

知レナイケレドモ、サウ云フ稅ヲ出ス、又

中ニハ非常ニ貧困ニシテ、三十圓、五十圓

ハ到底出セナイヤウナ人モアリマセウカラ、

サウ云フ者ハ何カ一定ノ切捨額ナリ、或ハ

控除額ナリヲ設ケテ、一般ノ國稅ノ負擔ノ

割合デ、何圓以下ノ收入ノ人ノ子弟ニハサウ云

フ負擔ヲ課ケナイト云フヤウナコトニシテ、

或ル程度ノ制限ヲ設ケタナラバ、一年五十

万人近イモノガアルト思ヒマスカラ、五十
圓ヅツ取ヅテモ二千五百万圓得ト云フ大
キナ數字ニナリマス、之ニ付テモ大藏省ノ
オ方ハ相當既ニ御考ニナッテ御研究済ノコ
トダラウト思ヒマス、マダ他ニモ二三考ヘ
タコトハアリマスルガ申上ゲマセヌ、斯ウ

ト思ヒマス

○太田政府委員 先程物品稅ト物價トノ關

係ニ付テ、質問ト云フヨリモ御注意ガアリ

マシタガ、無論單純ナル取締ダケテ行クモ

ノデハゴザイマセヌ、唯私ノ申上ゲズトモ、皆様ニ

ノハ、少シ言葉ガ足リマセヌデシタガ、物

價ニ及ボスキ消費ノ範圍ト云フコトニ私

ハ主力ヲ置イテ申上ゲマシタノデ、全體ノ

消費ノ中デ此稅ノ課カル物品ノ範圍ガソレ

程多クナイト云フコトヲ甚ダ恐縮デゴザイ

マスガ重ネテ申上ゲテ置キタイト思フノデ

アリマス、尙ホ最近ノ生計費ノ調査ニ於キ

マシテモ、他ノ物價ハ大變上ッテ參リマシ

タガ、茲ニ稅ヲ課ケラレテ居ルヤウナ奢侈、

娛樂ナドノ費用ハ却ヅテ下落シテ居ルヤウ

ナ形ガアリマシテ、今マデノ物品稅ノ關係

ト致シマシテハ、斯ウ云ツタ物品ガ物價ヲ

居リマス、昭和十二年度ニ於ケル道府縣ノ

雜種稅ヲ見マスト、遊興稅ガ六百万圓ニナッ

テ居リマス、稅率ハ府縣ト市町村ヲ合セテ

見マシテ、大略百分ノ十二ナッテ居ルノデ

ゴザイマス、此上ニ徵ルカト云フ問題ト、

國稅トシテ是ガ然ルベキモノデアルカト云

フ問題ニ付キマシテハ、大分議論モ鬪ハシ、

所ハマダ地方稅ノ程度デ行ク方ガ却ヅテ其目

ニ行クコトノ代リニナルト云フ意味ダト一

寸差支ガ起ルノデゴザイマス、無論サウ

シタ通リ、兵役ノ神聖ヲ害スルト云フ意味

デハゴザイマセヌガ、動モスルトサウ取ラレ

シテハ考ヘヨウガ、今此際時局ニ當ツテ増

金ヲ徵ルト云フ問題ニナリマスト——無論

コトダケデハ片付ケラレナイ狀況ニナッテ

サウ云フ贅澤ヲ私ハ贊成シテ言フ意味デハ

ゴザイマセヌガ、地方稅ノ程度ニ置クノガ

ノデハゴザイマセヌ、唯私ノ申上ゲズトモ、皆様ニ

ノハ、少シ言葉ガ足リマセヌデシタガ、物

價ニ及ボスキ消費ノ範圍ト云フコトニ私

ハ主力ヲ置イテ申上ゲマシタノデ、全體ノ

消費ノ中デ此稅ノ課カル物品ノ範圍ガソレ

程多クナイト云フコトヲ甚ダ恐縮デゴザイ

マスガ重ネテ申上ゲテ置キタイト思フノデ

アリマス、尙ホ最近ノ生計費ノ調査ニ於キ

マシテモ、他ノ物價ハ大變上ッテ參リマシ

タガ、茲ニ稅ヲ課ケラレテ居ルヤウナ奢侈、

娛樂ナドノ費用ハ却ヅテ下落シテ居ルヤウ

ナ形ガアリマシテ、今マデノ物品稅ノ關係

ト致シマシテハ、斯ウ云ツタ物品ガ物價ヲ

居リマス、昭和十二年度ニ於ケル道府縣ノ

雜種稅ヲ見マスト、遊興稅ガ六百万圓ニナッ

テ居リマス、稅率ハ府縣ト市町村ヲ合セテ

見マシテ、大略百分ノ十二ナッテ居ルノデ

ゴザイマス、此上ニ徵ルカト云フ問題ト、

國稅トシテ是ガ然ルベキモノデアルカト云

フ問題ニ付キマシテハ、大分議論モ鬪ハシ、

所ハマダ地方稅ノ程度デ行ク方ガ却ヅテ其目

ニ行クコトノ代リニナルト云フ意味ダト一

寸差支ガ起ルノデゴザイマス、無論サウ

シタ通リ、兵役ノ神聖ヲ害スルト云フ意味

デハゴザイマセヌガ、動モスルトサウ取ラレ

シテハ考ヘヨウガ、今此際時局ニ當ツテ増

金ヲ徵ルト云フ場合ニ採リ上ガルノハ却テ

ゴザイマセヌガ、地方稅ノ程度ニ置クノガ

ノデハゴザイマセヌ、唯私ノ申上ゲズトモ、皆様ニ

ノハ、少シ言葉ガ足リマセヌデシタガ、物

價ニ及ボスキ消費ノ範圍ト云フコトニ私

ハ主力ヲ置イテ申上ゲマシタノデ、全體ノ

消費ノ中デ此稅ノ課カル物品ノ範圍ガソレ

程多クナイト云フコトヲ甚ダ恐縮デゴザイ

マスガ重ネテ申上ゲテ置キタイト思フノデ

アリマス、尙ホ最近ノ生計費ノ調査ニ於キ

マシテモ、他ノ物價ハ大變上ッテ參リマシ

タガ、茲ニ稅ヲ課ケラレテ居ルヤウナ奢侈、

娛樂ナドノ費用ハ却ヅテ下落シテ居ルヤウ

ナ形ガアリマシテ、今マデノ物品稅ノ關係

ト致シマシテハ、斯ウ云ツタ物品ガ物價ヲ

居リマス、昭和十二年度ニ於ケル道府縣ノ

雜種稅ヲ見マスト、遊興稅ガ六百万圓ニナッ

テ居リマス、稅率ハ府縣ト市町村ヲ合セテ

見マシテ、大略百分ノ十二ナッテ居ルノデ

ゴザイマス、此上ニ徵ルカト云フ問題ト、

國稅トシテ是ガ然ルベキモノデアルカト云

フ問題ニ付キマシテハ、大分議論モ鬪ハシ、

所ハマダ地方稅ノ程度デ行ク方ガ却ヅテ其目

ニ行クコトノ代リニナルト云フ意味ダト一

寸差支ガ起ルノデゴザイマス、無論サウ

シタ通リ、兵役ノ神聖ヲ害スルト云フ意味

デハゴザイマセヌガ、動モスルトサウ取ラレ

シテハ考ヘヨウガ、今此際時局ニ當ツテ増

金ヲ徵ルト云フ場合ニ採リ上ガルノハ却テ

ゴザイマセヌガ、地方稅ノ程度ニ置クノガ

ノデハゴザイマセヌ、唯私ノ申上ゲズトモ、皆様ニ

タ次第デゴザイマス、無論今御示シニナリ
マシタ馬券賣上税ニシテモ、遊興税ニシテ
モ、或ハ國防税ト申シマセウカ、兵役免除
税ニ致シマシテモ、絶對的ニト云フ理窟デ
ハゴザイマセヌ、私共ガ今回採リ上ゲナカッ
タ理由ハ斯様ナ點ニアルノデゴザイマシテ
尙ホ將來ノ稅制改革等ノ場合ニ於キマシテ
ハ、有益ナル參考資料ト致シタイト思ブノ
デアリマス。

○宇賀委員 目下日本デハ支那事變ノ爲ニ
皇軍ガ百万以上モ海外ニ出テ行キマシテ、
サウシテ國民ヘ銃後ノ務ニ熱心ニナッテ居ル、
サウシテ毎日々々「ラヂオ」ヲ通ジテ承ル所
ノ陸海軍其他ノ獻金ハ數万圓時ニハ數十萬
圓、今日ニ至ッテハ既ニ數千万圓ノ金員ガ獻
納サレル、斯ウ云フヤウナ愛國心ノ熱誠ナ
ル場合ニ於キマシテハ、自分モ實ハ身體サ
レ良ケレバ進ンデ兵役ニ服シタイト云フ氣
持ニ充チ滿チテ居ル國民ガ多數アル場合デ
アリマスカラ、サウ云フ國民ニ斯ウ云フヤ
ウナ名目デモ納稅サセタナラバ、喜ンデ
ハ考ヘマシテ、之ヲ申上ゲテ見タノデアリ
マス、別ニ他ニ惡意アッテ——兵役ノ代償
デ必ズ取ルト云フ意味モナイコトモナイケ
レドモ、ソレバカリガ全部デハゴザイマセ

ヌデシタ、先ヅ此問題ハソレデ打切りマス
次ニ私ガ一ツ御伺致シタイノヘ、酒乃至
酒精含有飲料、或ハ清涼飲料水其他ニ付キ
マシテ、販賣ガ自由販賣デアリマシタノヲ、
今度ハ免許販賣ニ致ス、是ハ法案ノ理由書
ヲ見マスト、酒稅保全ノ爲メ斯ウ云フヤウ
ナコトニナッテ居リマスガ、私ハ之ヲスルコ
トハ結構グラウト思ヒマスルガ、今日俄ニ
之ヲヤラケレバナラヌヤウニナッタ理由ハ
何處ニアルノデゴザイマセウカ、私ノ考ヘ
ル所ニ依リマスレバ、コ、數年來酒類ノ賣
行ガ非常ニ惡クナッタノデアリマス、年々造
石高ハ五百万石カラ四百万石ニ減リ、三百
七十萬石ニ減ッテ居リマス、隨テ酒ノ釀造
家ノ懷ロハ大分工合ガ惡クナッテ居ル、ソレ
カラ小賣人ニ貸倒レガ非常ニ多クナリマシ
カ、中ニハ折角小賣屋サンガ釀造家カラ酒
ヲ貰ッテ、ソレヲ賣ッテシマッテ、一文モ金ヲ
拂ハズニ皆消費シテシマフ、サウシテ後カラ
荷ヲ造ラケレバ、其時分ニハ廢業シテ
昭和十二年ノ四月一日現在デ約二十四万人
程ゴザイマス。

○松隈政府委員 酒類販賣業者ノ總數ハ、
大分酒ノ釀造家ガ御困リニナル、酒ノ釀造
家ガ御困リニナルト云フコトハ、詰リ酒屋
カラ稅ヲ取ル大藏省ガ酒ノ稅ガ取レナク
ナッテ御困リニナル、斯ウ云フヤウナ譯デ、本
案ヲ俄ニ御出シニナッタノデハナイカ、斯ウ
マシタ馬券賣上税ニシテモ、遊興税ニシテ
モ、或ハ國防税ト申シマセウカ、兵役免除
税ニ致シマシテモ、絶對的ニト云フ理窟デ
ハゴザイマセヌ、私共ガ今回採リ上ゲナカッ
タ理由ハ斯様ナ點ニアルノデゴザイマシテ
尙ホ將來ノ稅制改革等ノ場合ニ於キマシテ
ハ、有益ナル參考資料ト致シタイト思ブノ
デアリマス。

云フ風ニ思ハレマス、或ハ違テ居ルカモ知
レマセヌガ、若シモサウ云フヤウナ事情デ
マシテ、販賣ガ自由販賣デアリマシタノヲ、
カト云フコトヲ伺ヒマシタ所ガ、諸般ノ事
トハ結構グラウト思ヒマスルガ、今日俄ニ
之ヲヤラケレバナラヌヤウニナッタ理由ハ
何處ニアルノデゴザイマセウカ、私ノ考ヘ
ル所ニ依リマスレバ、コ、數年來酒類ノ賣
行ガ非常ニ惡クナッタノデアリマス、年々造
石高ハ五百万石カラ四百万石ニ減リ、三百
七十萬石ニ減ッテ居リマス、隨テ酒ノ釀造
家ノ懷ロハ大分工合ガ惡クナッテ居ル、ソレ
カラ小賣人ニ貸倒レガ非常ニ多クナリマシ
カ、中ニハ折角小賣屋サンガ釀造家カラ酒
ヲ貰ッテ、ソレヲ賣ッテシマッテ、一文モ金ヲ
拂ハズニ皆消費シテシマフ、サウシテ後カラ
荷ヲ造ラケレバ、其時分ニハ廢業シテ
昭和十二年ノ四月一日現在デ約二十四万人
程ゴザイマス。

○松隈政府委員 酒類販賣業者ノ總數ハ、
ニシヨウト云フ御心持デ此制度ヲ作ラレル
如ク差當リ酒類販賣業者ノ數ヲ半分ニ減ラ
シテシマフトカ何トカ云フコトハ今考ヘテ
居ラナイ次第アリマス。

○宇賀委員 ソレカラ此新シク免許ヲ受ケ
ル爲ニハ、無手數料デ免許ヲナサイマスカ、
ソレモ手數料ヲ一圓ナリ、一二圓ナリ御取
リニナル御考デアリマスカ、此點ヲ伺ッテ置
キタイト思ヒマス。

○松隈政府委員 法律ノ附則ニ依リマシテ、
手數料ハ取ラヌ考デゴザ

イマス

○宇賀委員 ソレデハ販賣ノ方ノコトハ分

リマシタカラ、モウ止メテ置キマス、ソコデ

今度ハ私ハ此法文ヲ離レテ、私ノ希望ヲ申

述ベテ見タイト思ヒマス、是ハモウ私ガ此處

デ彼此レ申ス迄モナク、今度ノ稅法ト云フ

モノハ、實ニ三階建トカ四階建トカ申サレ

マシテ、或ル一ツノ基本稅法ガゴザイマシ

テ、其基本稅法ニ對シテ臨時租稅增徵法ト云

フモノヲ捨ヘ、其中デ基本的ノモノ——例

ヘベ第二十三條ノ如キ、所得稅法ノ中ニ當然

規定サルベキコトヲ規定シテアル場合ガアリ

モノハ廢止サレルノデアリマスガ、其代リ

マス、ソレカラ又北支事件特別稅法ト云フ

ニ又支那事變特別稅法ト云フモノガ出來マ

シテ、先ヅ三階建ノ一部ヲ打壞シテ、新シ

ク大キナ三階建ヲ造ッタト云フヤウナ立前

デゴザイマシテ、私共ノヤウニ稅ノ詳シイ

コトニ慣レテ居ナイ者ニヘ、折角何々稅法

ニ關スル改正稅率一覽表ト云フヤウナ詳シ

イ御丁寧ナモノヲ貴ッテモ、唯是バカリヲ見

タノデハ一寸分ラヌノデス、是ハ私共ノ同

僚ノ矢野君デスカ、大分皮肉ナコトヲ仰シ

ヤツタケレドモ、是ハ皮肉デヤナイト思フ、

事實私ナドガ他ノ人カラ何カ聞カレルト分

ラヌ、大藏省ニ居ツテモソソナコトハ分ラヌ

ヨト言ツテ兜ヲ脱イデ 居ルヤウナ始末デア

リマス、扱テ此法案ガ一部修正ナリ、或ハ

此儘承認サシテ法律トナッテ愈、實行サレルト

云フコトニナリマシタナラバ、實施ニ當リ

マシテハ嚴ニ大藏當局ハ御注意ヲナサッテ、

是ノ實施ニ萬全ノ策ヲ講ジナケレバナルマ

イト思ヒマス、先ヅ第一ニ私希望トシテ申

上ゲタイコトハ、此法規ヲモウ少シ單純化

スルヤウニ何トカ出來ナイモノデアルカ、

是ハ今ノ大藏省内ノ幹部ノ方ハモウスッカリ

オ分リノコトト思ヒマスガ、全國ニアル多

數ノ稅務官吏ニ、徹底的ニ此法律ノ精神及

ビ其數字等ヲ呑ミ込マセルニ付キマシテハ、

マダ——容易ナラザル苦心ガ要ルグラウト

思ヒマス、ソレハ大藏省ノ覺悟ノ前デ今迄

訓練其他ノ點カラ見マシテ、其點ハ心配ナ

御準備ハ出來テ居リマセウ、旦ツ又平生ノ

コトニ慣レテ居ナイ者ニヘ、折角何々稅法

ニ又支那事變特別稅法ト云フヤウナ詳シ

テ、先ヅ三階建ノ一部ヲ打壞シテ、新シ

ク大キナ三階建ヲ造ッタト云フヤウナ立前

デゴザイマシテ、私共ノヤウニ稅ノ詳シイ

コトニ慣レテ居ナイ者ニヘ、折角何々稅法

ニ又支那事變特別稅法ト云フヤウナ詳シ

入ラズニ、何ダカ胡魔化サレテ取ラレルヤ

ウナ氣持ガスルト云フコトハ、縱令金錢ハ

一錢或ハ五厘ト雖モ私ハ甚ダ不愉快グラウ

ト思ヒマス、是ハ私澤山ノ經驗ヲ持ツテ居リ

マスガ、サウ云フコトヲ此處デ諄々シク申

上ゲマセヌガ、何トカ此法案ガ確定シテ社

會ニ出タ場合ニ於テハ、此法律ノ意義ヲ間

違ナク民衆ニ徹底セシムル方法ニ付テ、何

カ大藏當局ハ御考ニナッテ居ル點ガアルデア

リマセウカ、サウ云フ點ニ付テ御腹案ガア

レバ御伺シタイ、或ハ是ハ何時モノ法律ト

同ジダカラ、何モソンナ特別ナコトハ必要

ガナイト云フ御考デアリマセウカ、之ニ付

テ御示シラ願ヘバ有難イト思ヒマス

○太田政府委員 稅ニ簡易性ヲ持タスト云

フコトハ、最モ注意スベキ點カト思ヒマス、

カルガ故ニモット極端ナコトヲ申シマスト

ゴザイマスガ、單純化スルト云フコトハ根

ナルカ、是ハ稅制改正ノ根本論ニナルノデ

テ居ルノデアリマス、一本ニシタ爲ニドウ

ドウモ私共ハ其點ニ付テ非常ニ心配ヲ持ツ

テ居ルノデアリマス、一本ニシタ爲ニドウ

ゴザイマスガ、單純化スルト云フコトハ根

ナルカ、是ハ稅制改正ノ根本論ニナルノデ

タノハ今回ガ初テデゴザイマス、今回ノ稅

法ニ依ツテ直接稅ガ此處ニ來タノデアル、然

ラバ其直接稅ガソコ迄來タ所デ、一本ニ抑

ヘテモ宜イヤウナ今日ノ狀況デアルルカ、

ドウカ、宇賀サンガ御示シニナリマシタヤ

ウニ所得稅ノ或ル部分ニ付テハ改正セズニ

置イテ、其上ヲ超シ又其上ヲ超シト云フ風

ニナッテ居リマス、而モソレヲ一本ニシマシ

テ、果シテ今ノ經濟界ノ實勢ニ合フカ、或

ハ國民生活ノ實勢ニ合フカト申シマズト、

ドウモ私共ハ其點ニ付テ非常ニ心配ヲ持ツ

テ居ルノデアリマス、一本ニシタ爲ニドウ

ゴザイマスガ、單純化スルト云フコトハ根

ナルカ、是ハ稅制改正ノ根本論ニナルノデ

テモ宜イヤウナ今ノ經濟狀況デアルカドウ

カト云フコトハ、客觀的ニ考ヘテ見ナケレ

バナラヌノデアリマシテ、今日ノトコロデ

ハスウ云フ風ニシテ稅ヲ課ケナケレバナラ

ヌヤウニナッテ居ル所ノ狀態デハナイカト

思ヒマス、ソレニ致シマシテモ第二點トシ

テ、複雜化シタモノニ對シテハドウ云フ手

當ヲスルカ、複雜化シタ點ヲ直接稅ト

間接稅トニ分ケテ見ルト、直接稅ノ方ガ更

ニ間接稅ノ關係ヨリ複雜シタ關係ガ多ク

ナッテ居リマス、間接稅ノ方ハ砂糖ニシテモ

酒ニシテモ、或ル意味ニ於テノ整理ヲシテ、寧ロ増徴法ニ依ッテハ舊來ノ税ヲ、砂糖ノ如キハ餘程簡單ニ、種類モ少クシテ簡單ニナツテ居リマス、酒ノ方モノ例ヘバ四十五圓ニナツタ、ソレニ今度五圓庫出稅的ノモノガ課カルト云フコトデニツノモノニナリマシテ、斯ウ云フ方面ニ付テハ間接稅ノ方ハ割合ニ複雜性ガ薄イト申上ゲテ宜イカト思ヒマス、併シ複雜性ノ強イ直接稅ニ付テハ、今宇賀サンガ御心配ニナリマシタ通リ、之ヲ適用スル稅務官吏ニ於テハ隨分苦心ガ多イコトト思ヒマス、而モ一步誤レバ經濟界響ヲ與ヘ、又其人ノ生活ニモ重大ナ影打擊ヲ與ヘ、此稅法ノ意味ヲ能ク御話シテ、皆様方ノ御趣意ニ反カナイヤウニ訓練シテ行キタイト思ヒマス、間接稅ニ付キマシテモ酒、砂糖ト云フヤウナモノニ付テハ斯様ナ狀況ニアリマスガ、一番種類ノ多い物品稅ニ付テハ、曾テ大藏大臣モ言ハレタコト記憶シテ居リマスガ、是コソ若シ稅ヲ課サナイ物品ノ値段ヲ上ゲルヤウナコトガアッテハ、轉嫁ヲ主ト致シマシタ間接稅引クトカ、或ハ株式ノ配當ハ配當利子稅ヲトカ、斯ウ云フコトハ普通ノ人間——トノ本旨ニモ背キマスノデ、斯ウ云フ物ニハ稅ガ課セラレル、又幾ラ以上ノ値段ノ物ニ

ハ、「デパート」トカ、或ハ其他一般ニ對スル周知方法ヲ考ヘテ、稅ノ本來ノ目的トスル所ニ誤ナキヤウ注意シテ行キタイト云フ覺悟デゴザイマス

○宇賀委員 ソレニ付テ具體的ニ、此法律ノ精神ヲ能ク徹底スル爲ニ何等カノ方法ヲ考案スルトカ、或ハ稅務相談所ト云フヤウモノヲ設ケルトカ、何カ適切ナ方法ヲ講ズル必要ガアルト思ヒマス、是マデノヤウニ單ニ所得稅ノ申告ヲシロト云フヤウナ印刷物ガ參リマシテモ、アレダケヲ讀ンデ見テモ、恰モ此法律文ノ燒直シノヤウナコトタダケデハ徹底セシメヨウトスル趣旨ガ一向呑込ミニクイ、私ガ斯ウ云フモノヲ讀ンデ見ルト、到ル所ニ何々ノ事項ハ申告スベシト書イテアル、是ハ義務ガアルノデアリマスカラ、納稅者ト致シマシテハ申告致スノハ當然デアリマスガ、斯ウ云フ申告ハ成ベク平易ナ申告ヲ御要求ニナツテ、例ヘバ第三種所得稅ノ勤勞所得ハ四割引クトカ、二割引クトカ、或ハ株式ノ配當ハ配當利子稅ヲシマシタ通リニ、稅務署ノ御方モ稅務署ノ中ニ入ツテ居ラズニ、彼處カラ出テ、能ク民衆ト接觸スルヤウナ機會ヲ澤山作ツテ、能ク納得サセテ稅ヲ納メサセルヤウナコトヲスレ

ト御叱リヲ受ケハセヌカト云フヤウニ考ヘテ居ルカラ、コチラカラ稅務署ニ行ッテ御指圖ヲ受ケルトカ、御指示ヲ受ケルコトハ恐ラクナイト思フノデアリマス、之ニ付テハ何カ申告ニ付テノ様式ヲ今一段ト簡略ニシテ、サウシテ二割ナラ二割引クトカ、四割引クトカ、サウ云フコトハ稅務署ノ方デオヤリニナツテ戴イテ、コチラカラ申告スル場合ニハ、基本數字ト云フヤウナモノダケヲ申告スルヤウニスル、是ハ一例ヲ取ツタノ限ツタコトデハアリマセヌ、營業収益稅デモ總テ同ジグラウト思ヒマスガ、モット何カ御マスカラ、其申告モ納稅者ガ十分能ク稅法ヲ理解シタ上デ申告スルヤウニ、段々向ツテ行カナケレバナラヌ、ト思フノデゴザイマス、稅務署ニモ稅務相談所ヲ設ケテ居ル所モ相當ゴザイマスガ、將來此方面ニ向ツテモ尙ホ商業會議所其他各種ノ組合方面ニ於キマシテモ、此新稅法ノ施行ニ際シテハ、是非出向イテ來テ此趣旨ヲ話シテ吳レト云フ要望ガ澤山ゴザイマスノデ、幸ニ此稅法ガ御協贊ヲ得マシテ實施サレル曉ニナリマシタナラバ、出來ルダケ努力致シマシテ、斯ウ云フ方面ニ力ヲ盡シタイト存ジテ居リマス、北支事件特別稅法ノ施行ノ當初ニ於キマシテモ、彼ノ物品特別稅ノ如キハ新シイ稅デ

シタガ、出來ルダケ稅務當局ノ方カラモ出
テ參リマシテ、各種ノ組合、同業者ノ方ノ
御集リ等ニ出テ十分ニ御説明モ申上ゲテ、
御諒解ヲ願シテ、此複雜ナル課稅物件ニ關ス
ル稅法ノ施行モ、大體納稅者ノ御理解ヲ得
マシテ、當初心配セラレタヨリモ比較的の
行ガ圓滑ニ進シデ居ル次第アリマス、此
度モ新稅法施行ニ伴ヒマシテ、十分斯ウ云
フ方面ニ努力シタイト存ジマシテ、追加豫
算ト致シマシテ相當金額ヲ要求致シマシテ
御協贊ヲ得タイト思シテ居リマス、第三種所
得稅、個人營業收益稅、或ハ又物品稅等ニ
關シマシテハ、「バンフレット」ノヤウナモ
ノヲ數十万部モ作製シテ配布シヨウ、其他
法人方面ニ付テモ相當ノ數ノ「バンフレット」
ヲ用意シタイト考ヘテ居リマス、斯ウ云
フ次第ニアリマシテ、御趣旨ノ點ハ十分考
慮致シマシテ、出來ルダケ其方面ニ努力シ
タイト思ヒマス、尙ホ第三種所得ノ申告ノ
様式ガ複雜デ、中々理解シ難イ點ガアルト
云フコトモ洵ニ仰セノ通リデアリマス、稅
法自體ガ複雜デアリマスノデ、之ヲ出來ル
ダケ簡易化シヨウトルト、却シテ稅法ノ本
當ノ趣旨ヲ誤リ易クスルト云フヤウナ弊ニ

テ、出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ進メタ
イト考ヘテ居リマス

○宇賀委員 私最後ニモウ一ツ御質問致シ
タイト思ッテ居リマス、ソレハ稅務官吏ノ養
成訓練ニ付テ、大藏當局ハドウ云フ施設ヲ
將來ニ於テ爲サントスルカト云フコトヲ聽
イテ見タイト思ッテ居リマス、輓近經濟界ノ
發展變動ハ洵ニ目マグルシイモノガアリ
マシテ、中々各會社モ大キクナルシ、個人
ノ營業モ大キクナリ、仕事モ難多ニナリマ
ス結果、稅務ニ從事スル當局ノ御方ノ勞苦
ト云フモノニ付テハ、私共モ洵ニ同情ノ至
リニ堪ヘマセヌ、昔カラ舊約聖書ナドヲ見
マシテモ貢取りト言ツテ、餘リ外部カラ好意
ヲ以テ迎ヘラレナイヤウナモノガ稅務官吏
デアリマス、支那人ノヤウナ考デナクテモ、
只取ラレルト云フヤウナ考ラスル人ガ多イ
ノデアリマス、普通ノ專賣ナラバ煙草ヲ賣ッ
テ、四錢五厘ナリ五錢ナリ、兎ニ角五六
錢——今デハ幾ラ取ルカ知リマセヌガ、ソレ
ヲ二十二錢位ニ賣ッテモ、對象物ガ戴ケルカ
ラ大丈夫デアリマス、所ガ稅ノ方ハ何ニモ
下サル方ハ下サラナイデ、取上ゲル場合バ
カリ取上ガルト云フコトヲ考ヘテ居ル、今
日ノ世ノ中ニ於テ、此複雜ナル經濟上ノ變
動ノ多イ時ニ於テ、成ベク法規ニ命ゼラレ
イト考ヘテ居リマス

タル所ヲ誤ナク施行シテ、立派ナ稅ヲ取ラ
ウト云フコトハ、是ハ實ニ其勞苦、其辛勞

タル所ヲ誤ナク施行シテ、立派ナ稅ヲ取ラ
ウト云フコトハ、是ハ實ニ其勞苦、其辛勞
ハ御察シ申上ゲマス、今ノ世ノ中ハ斯ウ云
フ風ニ複雜デ、法規ガ後カラノト改廢サ
レマス、今ノ大藏大臣ハ、増稅案ハ第二次
ハセマスレバ、今後此日本ノ國情カラ見マ
スレバ、中々此儘デ行クモノデハナイ、所
謂長期抗戦ノ時代ニ入りマシタガ、恐ラク
ハ十三年度ニ於テ四十八億モ軍事費ガ出
ル、ソレガ假令今年内ニ法ガ出來タトシテ
モ、相當ナ兵力ヲ支那ニ駐在セシムル必
要ガアル、隨テ一箇師團ノ兵隊ヲ入レレ
バ、何百万圓ト云フ金ガ掛ルコトダツト思ヒ
マスカラ、中々今後モ軍事費ト云フモノハ
減ルコトハナカラウト思ヒマス、況シヤア
米利加アタリハ日本ヲ目ノ敵ニシテ軍艦ヲ
ドシ／＼造ツテ來ル、日本モ國家ノ存立上
ムヲ得ズ之ニ對抗シテ、五・五・三ノ比率ニ滿
足出來ナイカラ、十分之ニ對抗スルダケノ
軍備ヲ進メテ行カナケレバナラヌト云フヤ
ウナ將來ノコトヲ考ヘマスト、是ハ中々容
易ナコトデハナイ、必ズヤ第三次、第四次
第五次ノ增稅ヲ必要トスルヤウナ事態デア
リマス、サウナルコトヲ私ハ希望スル譯デ
ニアリマセヌガ、希望スルトセザルトニ拘

ラズ、サウシナケレバナラヌト思フノデア
リマス、デアリマスカラ稅務當局ノ責任ト

ラズ、サウシナケレバナラヌト思フノデアマス、デアリマスカラ稅務當局ノ責任ト云フモノハ益、重大ニナッテ來ルノデアリマス、サウシテ今言フ通リニ、稅務署ノ官吏ノ品性其他ニ付テモ、立派ナ人バカリ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、長イ間ヤツテ居タル人ハ立派ナ人ガアリマスケレドモ、此稅務ノ役人ヲ殖ヤス場合ニ於ハ、十分経験ノ足リナイ者モ澤山此際使ハナケレバナラヌコトモ起ルダラウト思ヒマス、サウ致シマスレバドウシテモコ、デ稅務署ノ官吏ノ素質ヲ——今デモ相當向上シツ、アリマスケレドモ、尙ホ一層向上改善セシメルコトガ急務デアル、而シテ品性ヲ清廉ナラシムルノミナラズ、學識モ豊富デナケレバナラヌ、常識モ發達サセナケレバナラヌ、民衆トノ接觸モ餘リ威張ルバカリデハ困ル、サウカト云ツテ親シンデ餘リ狎レテモ困ル、色々ト難カシイ問題ガ澤山起ルダラウト思フ、私ハ成ベクオ役人ノオ方ハ親切ニ民衆ニ對シテ、ドウシテモ是ダケノモノハ取ラナケレゲテ居ル時デアリマスカラ、喜ンデ稅ヲ差上ゲルニ付キマジテモ、出來ルダケ負擔ノ均

衡ト云フコトヘ、決シテ忘レラレナイダラ
ウト思ヒマス、況ニヤ第三種所得稅ハ、千
圓マデ引下ゲラレテ、千圓ノ所得ノ者ハ十
二圓五十錢取ラレル、九百九十九圓ノ者ハ
一厘モ稅金ヲ拂ハナイト云フヤウナ法律ヲ
長ク存續サセルコトハ、稅務官吏ガ幾ラ努
力シテモ、コンナ不公平ナ結果ヲ生ジテ居
ルト云フコトデヘ、立派ナ成績ハ舉ゲルコ
トガ出來ナイト思ヒマス、デアリマスカラ
法律ヲ改正スルコトハ勿論大切デアリマス
ガ、一面又稅務官吏ノ教養ヲ篤クスルヤウ
ニ致シマシテ、是ハ中々勞働ダケデハ間ニ
合ヒマセヌ、足ガ丈夫ダカラト云ッテ稅務
官吏方勤マルモノデハアリマセヌ、頭ガ良
クテ、色々ノ要素ガナケレバナラヌノデア
リマスカラ、教養ニ付テハ、今日既ニ私ガ
彼此レ申スマデモナク、大藏當局ヘ意ヲ用
ヒテ、十分此點ニ付テ力ヲ用ヒ、益、稅務官
吏ノ素質向上ニ努力ナサツテ居ルダラウト
思ヒマスガ、尙ホ一段ト教養ニ付テ何カ一
ツノ機關ヲ作ル、サウシテ大學卒業生デモ
少クモ一年位簿記デアルトカ、或ハ實際社
會ノ見學ヲセシメル、其外中等學校ノ卒業生
ヲ收容シテ、ヤハリ稅務ニ必要ナル學科
モ揃ヘテ、今日ノ社會ニ應ズル所ノ立派ナ

税務官吏ヲ養成スルコトヲ御考ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、ケレドモ、中々大藏省ト云フ所ハ、私モ居リマシタカラ能ク知ツテ居ルケレドモ、自分ノ所ノ仕事ニ付テ會計課長ガ主計局ニ豫算ヲ貰ヒニ行クト中々取レナイノデアリマス、是ハ又良い所デモアリマセウガ、自分ノ所ヲ御手盛デヤツテハ大變ダト云フノデ、何時モ後廻シニナツテ、野卑ナ言葉デ申シマスレバ馬鹿ヲ見ルト云ツタヤウナコトニナリ勝チデアリマス、サウ云フコトハマア大藏省ハ模範ヲ示スノダカラサウ云フ要求ハシナイノダ、餘り外ニ目ニ立ツカラヤラナイノダト云フヤウナコトデ、マアト云フ所デ差控ヘテ居ル場合ガ多イノデアリマス、或ハ税務官吏ノ養成機關ナドモ、ソンナコトデ今日マデ遅レテ居ルノデハナイカト私ハ心配致シテ居ルノデアリマス、併シサウ云フ事ハチツトモ遠慮ヲシナクテ宜イデヤナイカト思ヒマス、是ハ洵ニ必要ナモノデアツテ、ドウシテモソレヲシナケレバ、法律バカリ改正シタダケデハイカヌ、法律ヲ施行スルモノハ人デアリマスカラ、其人ガ立派デナケレバ立派ナ成績ハ舉ラナイト云フ點カラ、モウ

○太田政府委員

少シ勇敢ニ、自分ノ所ノ御手盛デ之ヲ解決シタト言ツテハ語弊ガアリマスケレドモ、此點ヲ注意シテ一段トスウ云フ方面ニ御努力ナサレルコトガ必要ダラウト思ヒマス、此點ニ付テノ大藏當局ノ御意見ヲ承ルコトガ出来マスレバ幸ダト思ヒマス

○太田政府委員 段々ト此稅法ヲ施行スル上ニ付テノ稅務官吏ノ心得ベキ事柄、稅務官吏養成ニ付テノ御言葉ヲ頂戴シマシテ洵ニ有難ク存ジマス、御言葉ノ通り稅務官吏ノ仕事ハ謂ハゞ時局ニ當リマシテ、支出セラル、金ヲ調ヘテ行ク、其金ヲ集メテ行ク裏面ノ實ハジメシタ仕事デゴザイマスガ、是ナカリセバ國家ノ財政ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ル所ノ此仕事ニ付キマシテ、御理解アル御言葉ヲ頂戴スルコトハ稅務ニ關係スル者ノ沟ニ喜ビトスル所デアリマス、宇賀サンノ御話ニモアリマシタガ、經濟社會ガ非常ニ複雜ニナツテ來タ所ヘ此增稅ヲ行フノデアリマスノデ、ソレガ事業ニドウ響クカ、或ハ國民ノ生活ニドウ響クカト云フコトハ餘程親切ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、高等教育ヲ受ケタ者デモ、會社ノ考課狀ヲ見テ眼光紙背ニ徹スルト云フ譯ニト大變ナ影響ヲ齎シマス、殊ニ最近色々ナ

方面ニ於テ統制ト云フヤウナ、國家ノ強力
ヲ加ヘテ行ク事柄ガ事業ナリ生活ナリニ關
係シテ居リマスノデ、舊イ事バカリ知ッテ
居ツテモ、今ノ世ノ中ヲ通ルコトハ出來マセ
ヌ、サウ云フ方面ニ付キマシテモ此世ノ中
ノ動キ、經濟ノ動キ、生活ノ波ト云フモノ
ヲ能ク見テ行カナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、其取り方ガ一步誤ルト苛斂誅求
ニナリマスルノデ大變ナ問題ニナッテ來マ
ス、此意味ニ於キマシテ先ヅ經濟上ノ、稅
ニ關スル智識ヲ全面的ニ得ナケレバナラヌ
ト云フコトガ第一グラウト思ヒマス、更ニ
法律技術ノ上ニ於キマシテモ、隨分今ノ稅
法ノ解釋ト云フモノハ難カシイ條文ガ少ク
ナイノデアリマシテ、法律方面ニ於ケル知
識モ亦持ツテ居ナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、尙ホ稅務官吏ハ金ニ關係シタ仕
事ヲシテ居リマスノデ、是ガ不正ナ事ガア
リマスレバ大變ナコトデ、今宇賀サンノ御
言葉ニモアリマシタガ、親シンドモ狎レテ
ハ困ル、味フベキ御言葉ト思ヒマス、斯ウ
思フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ意味ニ於
テ、經濟ナリ或ハ法律ニ關スル稅ノ方面ノ
知識ヲ得ルコトヲ第一トシ、國民ニ對シテ

ハ何ト致シマシテモ親切ヲ第一ニシテ行カ
ナケレバナラナイ、而シテ法ヲ施行シタ結果ト云フモノヘ作ツタ法律ヲ生カシテ行ク
ヤウニ、實情ニ合フヤウニヤッテ行カナケレ
バナラヌ、此三點ガ特ニ強調スベキ點デハ
ナイカト思ヒマス、ソコデ先ヅ學校ヲ作ル
考ハナイカ、斯ウ云フ御言葉デアリマスガ、
今其計畫ハゴザイマセヌ、唯稅務官吏ニ關
スル費用ヲ御要求申上ゲマス時ニ、兎角、
何ダ是ハ稅ヲ餘計取ル意味ノ金ヂヤナイカ、
ト云フヤウナコトヲ從來聞イタコトモゴザ
イマスガ、今宇賀サンカラ御同情アル、又
能ク稅務官吏ノ心意氣ヲ御承知ノ御言葉ガ
ゴザイマシタガ、金ヲ掛ケルト云フコトハ
寧ロ良イ稅ヲ取ルト云フコトニナルノデゴ
ザイマシテ、將來ニ於キマシテモ、斯ウ云
フ方面ニ於ケル經費ト云フモノハ十分注意
シテ行キタイト思フノデアリマス、又御同
情モ仰ギタイト思フノデアリマス、而シテ
學校マデ作ルコトニ至ツテ居リマセヌガ、本
省ニ於キマシテモ全國カラ稅務官吏ヲ選抜
致シマシテ、三箇月見當——無論仕事ヲ持ツ
テ居リマスノデ、且ツ經費ノ關係モアリマ
シテ、非常ニ長イコトハ出來マセヌノデ、
三箇月見當ヲ以テ講習ヲシテ居リマス、尙
ホ全國ノ稅務監督局ニ於キマシテモ、ソレ

ゾレ各種ノ短期講習會ヲ開キマシテ從事員
ヲ養成シテ、法ノ施行、又親切第一ニ行ク
ヤウニト云フ意味ニ於キマシテ努力シテ居
ル次第ゴザイマス、斯ウ云フ講習會ヲ開
イテヤッテ行ク以外ニ、其都度本省カラ然ル
ベキ指示ヲシテ誤ノナイヤウニ、又實際ニ
合フヤウニ事務ヲ進メテ居ルヤウナ次第デ
ゴザイマス

○高橋委員長 勝君ガ今宇賀君ノ質問ニ對
シテ二三ノ關聯事項ノ質問ガアルサウデア
リマスカラ、此際許シマス

○勝委員 只今私ノ質問スル時間デハナイ
ノデアリマスガ、宇賀委員ノ質問ノ際ニ、
所得ノ申告ノコトニ付テ詳シイ質問ガアッタ
ノデアリマス、是ハ私豫ネド考ヘテ居ルコト
ノデアリマス、是ハ私豫ネド考ヘテ居ルコト
デ、大藏當局ノ方ニモ數回申上ゲタコトモアル
ト思フノデアリマスガ、第一ニ感ジマスル
ノデス、此際大藏省ノ御意向ヲ確メテ置キタイ
ノハ、個人ノ所得ノ申告ノヤリ方ガ非常ニ
難カシイコトニナッテ居リマス、諸君モ御經
驗ガアラレルト思フガ、現ニ私が昨年三月
所得ノ申告書ヲ取寄セテ自分デ書イタ、稅
ノコトニ付テハ色々私ハ注意ヲシテ居ツテ、
幾ラカ玄人ト言ハレテ居ル私ガ、所得ノ申
告ノ計算ヲスルノニ一時間以上掛ツタ、斯ウ
云フコトニナッテ居ル、ソコデ勤勞控除ト云

一割引クト云フコトニナリマシテ、到底是
ハ素人ニハ出來ナイ、ソコデ一體稅務署ハ
所ガ自分ノ所得ノコトデアルカラ、代書人
ノ所ヘ行ツテ、俺ノ家ノ所得ハ斯ウナッテ居
ル、ア、ナツテ居ルト云フコトヲ言ツテ、代
書人ニ書イテ貰フノモ中々嫌ナコトデアル、
ソレデアルカラ皆所得ノ申告ヲシナインノデ
ス、ソレデ所得ノ申告ヲシナインガ一番惡
イノデアルカラ、所得稅ニ付テハモウ少シ申
告ガ樂ニ出來ルヤウニオ直シニナッタラド
ウデスカト云フコトヲ、屢、主稅當局ニ申上
ゲテ居ル、所ガソレヲ中々ヤッテ下サラナ
イマセヌカト云フコトヲ屢、申シテ居ルノ
イ、所得稅法ニハ斯ウ書イテアリマス、「第
三種ノ所得ニ付納稅義務アル者ハ毎年三月
十五日迄ニ所得ノ種類及金額ヲ詳記シ政府
ニ申告スヘシ」、是ダケサット讀ンデ見ルト、
所得ノ種類及ビ金額ヲ詳記ト書イテアルカ
ラ何ノコトデモナイノデスガ、此所得ノ種
類及ビ金額ト云フコトヲ、私ガ今言ツタヤウ
ナ窮屈ナ解釋ニシナイデ、所得ノ基礎トナ
ル數字ヲ申告スレバ宜イヤウニ、勅令其他
デアリマスガ、此所得稅法ノ第二十五條ノ種
類及ビ金額ト云フコトヲ、私ガ今言ツタヤウ
ナ窮屈ナ解釋ニシナイデ、所得ノ基礎トナ
ル數字ヲ申告スレバ宜イヤウニ、勅令其他
ニ依ツテ緩和スル餘地ガアリマスカ、或ハ法
律ヲ變ヘナケレバ出來ナイモノデアリマス
カ、是ハ専門ノ方カラ御答ヲ願ツタ方ガ宜イ
デセウカラ、松隈君カラデモ御返答ヲ願ヒ
マス

○松隈政府委員 御話ノ如ク所得稅法ノ第
二十五條ニハ「所得ノ種類及金額ヲ詳記シ政
府ニ申告スヘシ」ト云フコトニナッテ居リマ
ス、ソレカラ施行規則ノ第十九條ニ依リマ
スルト「所得ノ種類金額、所得ノ基本タル資
産營業ノ所在地、所得ノ發生スル場所及所

得算出ノ基礎ヲ詳記シ所轄稅務署ニ申告ス
ヘシ」トナツテ居リマス、所得ノ種類及ビ金額
ト云フモノヲ施行規則ニ依ッテ更ニ敷衍シ
テ居ルノデアリマシテ、此施行規則ノ書キ
方或ハ解釋ノ如何ニ依ッテハ、御話ノ如ク之
ヲ簡易化スルコトモ出來ルカト思ヒマス、
尙ホ此際附加ヘテ申述ベサシテ戴キタイト
思ヒマスガ、現在ノ申告書ハ成程御話ソヤ
ウニ、正確ナモノハ只今御示シニナツタヤウ
ナ點マデ書イテ戴クコトヲ要求シテ居ルノ
デアリマスルガ、若シサウ云フ點ガ詳記出來
ナイ向ニアツテハ、基本ダケラ御書キ下ス
テモ、稅務署ノ方デ其基本ニ依ッテ所得金
額ヲ算出シテ便宜取扱ッテ居ルノデゴザイ
マスガ、併シドウモ立前ガ仰シヤツタヤウニ
詳シイ事マデ書ケト云フコトガ、少シク無理
ヲ強ヒテ居ルト云フコトデアリマスレバ、
政府ニ於テハ能ク此點ヲ考慮シテ、成ベク
御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジテ居リ
マス、尙ホ申告ニ付テ先程宇賀サンノ御話
モアリマシタノデ、之ヲ簡易化スルコトニ
付テ私共ノ今一應考ヘテ居ルコトヲ申述べ
サシテ戴キマスレバ、或ハ今ノ申告書ト云
フモノガ、俸給所得者デアツテモ、營業者デ
アツテモ、其他ノ所得ヲ持ツテ居ル、非常ニ
所得ノ種類ノ複雜ナモノデアツテモ之ヲ

枚ノ申告用紙ニ纏メテシマッテ、其一枚ノ
申告用紙ヲ見レバ、俸給所得者ノ申告モ出
來、營業所得者ノ申告モ出來、更ニ貸
地、貸家、配當其他ノ所得マデ申告ガ出來
ル、斯ウ一見一覽表ニナツテ極メテ便利ノ
ヤウニナツテ居リマスル點ハ、一方カラ見
マスルト便利デアツテ特色ノヤウデアリ
マスケレドモ、多クノ人ハソンナニ俸給ヲ
貰ヒ、營業ヲシ、配當モ貰ヒ、貸地、貸家
モ持ツテ居ルト云フモノハ寧ロ稀デアリマ
シテ、隨テ之ヲ大別シテ俸給所得者ノ申告
書ト營業所得者ノ申告書、或ハ其以外ノモ
ノノ申告書ト云フヤウナ風ニ別ケマスルト、
俸給所得者ノ申告書ハ、俸給所得者トシテ
申告スル上ニ必要ナ注意事項ニ付テ詳シク
説明シ、ソレ以外ノコトハ簡単ニ掲ゲレバ
宜イト云フヤリ方モアルノデアリマス、今
ノヤウナ營業所得ヤ配當所得ニ對スル注意
事項ハ省イテ、若シアツタナラバ或ハ基本ダ
ケ附加ヘテ置イテ貰テモ差支ナイ、斯ウ云
フヤウナコトニデモ致シマスレバ、餘程見
淘ニ有難ウ存ジマス、就キマシテハ政府ハ
トデアツタ、其處ニ太田政務次官、中村參與
官、主稅局長モ御出席デスガ、今ノ御答ハ
ルカ出來ナイカト云フ御返事ヲ戴キマシテ、
若シ變ヘナケレバ出來ナイト云フコトデア
リマスレバ、皆サンニ御相談シテ、法案ノ
修正ニ迄進ミタイト思ツタ譯デアリマス
○高橋委員長 ソレデハ服部君

○勝委員 只今政府委員ノ御答辯デ満足ヲ
致シマス、即チ之ニ依ッテ稅務署ガ其人ノ所
得ヲ正確ニ算出シ得ル資料タルベキモノヲ
申告スレバ、ソレデ満足ラナサルト云フコ
トデアツタ、其處ニ太田政務次官、中村參與
官、主稅局長モ御出席デスガ、今ノ御答ハ
ルカ出來ナイカト云フ御返事ヲ戴キマシテ、
若シ變ヘナケレバ出來ナイト云フコトデア
リマスレバ、皆サンニ御相談シテ、法案ノ
修正ニ迄進ミタイト思ツタ譯デアリマス
○太田政府委員 御趣意ノ點ハ非常ニ贊成
デアリマス、唯法律ヲ變ヘナクテ出來ルカ
ドウカト云フコトハ、相談シナイト何トモ
申上ガラレマセヌガ、御趣意ノ點ハ全然贊
成デアリマス、又經費ガアルカドウカソレ
等ノ事モ能ク相談シナケレバ分リマセヌガ、
御趣意ノ點ハ、何トカシテヤツテ見タイト思
ト思ツテ居リマス

○勝委員 サウ云フコトデアレバ、ソンナ
困苦シイコトヲ申ス必要モナカッタノデア
リマスガ、實際ヤツテ貰ヒタイカラ、政府ノ
御答辯ヲ速記錄ニ残シテ置カウト云フ趣意
カラデアリマス、法律ヲ變ヘナクテモ出來
ルカ出來ナイカト云フ御返事ヲ戴キマシテ、
若シ變ヘナケレバ出來ナイト云フコトデア
リマスレバ、皆サンニ御相談シテ、法案ノ
修正ニ迄進ミタイト思ツタ譯デアリマス
○服部委員 私ハ今回ノ稅法ノ改正竝ニ増
稅ニ付キマシテ、私ノ疑問トスル所ヲ御尋
シテ、政府ノ意ノ在ル所ヲ伺ヒタイト思フ
モアリマス、此間中缺席ヲシテ居リマシ

活者デアルカラ、俸給所得ノ申告書ヲ送付
スレバ宜イ、是ハ營業者デアルカラ營業者
モ、政務次官ノ方カラ、ヤツテヤルトカ、ヤ
ラストカト云フ御返答ヲ願ヒマス

テ、或ハ私ノ質問ガ重複スル嫌ヒガナイトモ限ラナイノデアリマスガ、此點ハ特ニ委員各位ノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ニ御伺申上ゲタイノハ、酒造稅法中改正法律案、並ニ是ト同様ノ酒精及酒精含有飲料、又麥酒、是等ヲ全部通ジテノ問題デアリマスガ、今回ノ改正案ハ、業界ガ要望シテ居リマス所ノ酒類ノ販賣免許ノ制度ヲ採用サレタノデアリマシテ、是ハ業界ノ爲ニ非常ニ結構デアリ、又此販賣免許制度ガ持ツ所ノ目的、即チ酒稅ノ保全ト云フコトガ、之ニ依ツテ相當確保サレルモノダ、斯様ニ信ジマシテ、業界竝ニ保稅ノ爲ニ慶バシイコトト思フノデアリマス、就キマシテハ、此酒類ノ販賣免許ニ付テ、ドウ云フ工合ニ之ヲ運用セラレルノデアルカ、其點ヲ御伺申シタイト思フノデアリマス、先づ第一ニ酒類ノ販賣業、是ハ政府ノ御考ニナッテ居リマス點ハ、或ハ卸賣、或ハ小賣、或ハ酒類ノ販賣業ト御認メニナッテ問屋、是等ハツノ販賣業ト御認メニナッテ居ルモノト思フノデアリマス、其他ニ或ハ旅館デアルトカ、飲食店、サウ云フ方面デ容膳デアルトカ、料理屋デアルトカ、待合ニ提供致シマス酒類ニ付キマシテハ、酒類ノ販賣業ノ中ニ屬シナイモノト、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、如何デアリマス

カ、次ニ酒類ノ販賣業トシテ括弧ヲシテ「販賣ノ仲介業ヲ含ム」ト書イテアリマスガ、此ノヲ考ヘラレテ居リマスノカ、私共ガ承ル所ニ依ルト、產業組合法ニ依ル購買組合或ハ農事實行組合、其他私設の組合ナドヲ考ヘテ居ラレルノデハナイカ、或ハ此中ニハ、店舗ヲ持タナイデ酒類ノ賣買斡旋ヲ致シマス、俗ニ謂フ仲次業ト云フモノガアリマスガ、是等ハ販賣ノ仲介業ヲ含ムト云フ中ニ包含サレテ免許サレルノデアリマスルカ、是ハ除外サレルノデアリマスルカ、先づ此點ヲ御伺致シタイト思ヒマス、尙ホ此酒類ノ販賣業者ハ、一つノ店舗ヲ持ツト云フコトガ條件ニナッテ居リマシテ、免許ヲ與ヘラレマス所ノ販賣業ト云フモノハ、必ズ店舗ト云フモノガ一つノ條件ニナッテ居ルノデアラウト思ヒマスガ、先づ業態竝ニ今御對申シマシタヤウナ點ヲ詳細ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○大矢政府委員 販賣ノ仲介業デアリマスルガ、購買組合ハドウデゴザイマスカ
○大矢政府委員 產業組合ノ中ノ購買組合ハ、產業組合法ノ第一條ニ於キマシテモ、組合員ニ品物ヲ賣却スルコトハ認メラレテノハ、酒類ノ販賣業ヲ營業トシテ營ム者ト云フ意味トハ多少違ヒ、販賣業ヲ爲ス者ト云フ趣旨デアリマス、產業組合法ノ購買組合モ其中ニ入レル、斯ウ云フ積リデ立法致シタノデアリマス、コ、デ申ス販賣ト云フノハ賣却ト同ジ意味ダト解シテ居リマス

○服部委員 是ハ小理窟ヲ言フト言ハレルカモ分リマセヌガ、分ラヌカラ御尋スルノデアリマス、成程產業組合ノ中ノ購買組合デス、是ハ「產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト」ト云フコト云フノハ、私ガ申上ゲル迄モナク、組合員ノ產業及ビ經濟ニ必要ナル物ヲ第三者カラ

購入シテ、之ヲ組合員ニ賣却スルノガ購買組合ノ目的デアリマス、故ニ此賣却ト云フ意味ハ、恐ラク配給ト云フ意味ガ殆ド大部分居ルノデアリマス、デアリマスカラ販賣業ト云フモノト賣却ト云フモノトハ自ラ違ヒマシテ、サウンテ產業組合ノ經濟ニ必要ナ物ヲ第三者カラ買入レテ、之ヲ賣却スルト云フコトハ、販賣ト云フモノト違ヒマスルカラ、此販賣業ノ中ニ入レルコトハ文字ガ適當デアルカドウカ、或ハ文字ニハ多少適當デナクテモ、他ニ適當ナモノガナカッタカラ、斯ウ云フ工合ニ入レタト云フ御氣持デアルカ、其點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

ト思ヒマスガ、其場合ニ若シ賣却ト販賣ト
合——是ハマア語呂ノ問題モゴザイマセウ
ガ、サウ云フヤウニモ此處デ考ヘタノデゴザ
イマス、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲマスガ、産業組合
ニ課税スルト云フ意味ニ是ガ解釋上取レル
カト云フコトハ、法制局ヘ此法案ヲ持ッテ行
キマシタ時ニ御聽致シマシタ、聽イタ結
果、マア是デ販賣業ト書イテアルガ、産業
組合ノ購買組合ガ賣却スル場合ニモヤハリ
此取締規定ヲ適用シテ宜イ、斯ウ解釋ヲ、
大藏省ダケデナク、法制局ノ方トモ打合セ
テ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○服部委員 私ハ茲ニ産業組合ノ問題ニ付テ、農林省ノ政府委員ニ御出席ヲ願ッタノデアリマスガ、御都合マダ御出席ガナイヤウデアリマス、是ハドウセ後ニ譲リタイト思ヒマスガ、一般ニ産業組合ト云フモノノ持ツ行爲ヲ販賣行爲ト云フコトニ大藏省ガ御考ニナルコトハ、非常ナ大キナ間違ヲ生ジテ來ルト思ヒマス、大藏省ガ産業組合、購買組合ガ第三者カラ買入レテ、サウシテソレヲ組合員ニ賣却スルコトヲ、一ツノ販賣ト同ジ意味ダト云フコトニ御考ニナルコトハ、將來ニ於テ大キナ間違ヲ生ズル因ダト私ハ考ヘルノデアリマス、此點ハ尙ホ私ハ能ク法制局ノ方ト御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソコデ免許ノ方法デアリマスガ、是ハ唯免許制度ニサレタト云フダケデハ、私ハ何等ノ效果ガ現ハレテ來ナイト思フノデアリマス、澤山ナ方ガ政府ニ向ツテ免許ヲ出願サニタ場合ニ、全部之ニ御許シニナルト云フヤウナコトデアルナラバ、是ハ免許ノ必要ガナイノデアリマス、必ズ免許制ヲ設ケラレマシタル以上ハ、其免許ニ付テハ政府ニ相當ノ成算ガアリラウト思ハレルノデアリマス、ソレヲ全部此處デ政府ノ考ヘテ居ラレマスル點ヲ御明

○大矢政府委員 先程他ノ政府委員カラ御答致シマシタ通リ「昭和十三年一月一日前ヨリ引續キ酒類ノ販賣業ヲ爲ス者本法施行後一箇月内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スルトキハ、本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ販賣業ノ免許ヲ受ケタルモノト看做ス」ト附則ニアリマシテ、是ハ一種ノ既得權ト見テ免許ヲ與ヘルノデアリマス、問題ハ將來ノ新シク販賣業ヲ始メル者ニ對シテドウスルカト云フコトデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、其免許申請者ノ人物、性行或ハ資産ノ狀況、ソレカラ近傍ノ既設ノ酒類販賣業ノ免許ヲ受ケテ居ル者ノ店舗トノ距離、酒類ノ需給ノ狀況、近傍ノ發展ノ狀況、各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、其免許ノ許否ノ適切ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ如何ナル場合ニ免許ノ申請ガアッテモ免許ヲ與ヘナイカト云フコトニ付テ、一二申上げテ置キタイト思ヒマス、曩ニ免許ヲ受ケタ者ガ何カ酒造稅法上ノ反則ニ該當スルヤウナ事ガアッテ、免許ノ取消ヲ受ケタ者ガ、更ニ免許申請ヲシテ來タト云フヤウナ場合ニハ、免許ハ致サナイ積リデ居リマス、ソレカラ資力ガ極メテ薄弱デアッテ、此酒稅ノ轉嫁ヲ困難トスルト云フヤウナ者ガ申請シテ來タ

場合ニモ、此販賣免許制度ヲ制定致シマス
ル趣旨カラ致シマシテ許サヌ積リデ居リマス
ス、其他取締上不適當ト認メラル、向ノ者
ニ對シテハ免許ヲ與ヘナイ積リデ居リマス
○服部委員 内容ヲ大體御明示戴キマシテ
沟ニ有難ウゴザイマス、ソコデ免許制度ヲ
受ケマシタ所ノ業者デゴザイマスガ、是等
ノ業者間ノ御互ノ親睦ヲ圖リ、且ツ業界ヲ爲
ニ連絡ヲ取ツテ、ソコデ一ツノ統制ヲ取ツテ
參リマス上ニ於キマシテハ、此免許制度ニ
シテ今後免許サレベキ人達ハ、只今ノ御述
ニナリマシタヤウナ條件ノ揃ツタ者ニ免許
ヲ與ヘラレルノデスカラ、ソレデ免許ノ一
ツノ目的ハ達セラレマスガ、ソレダケデハ
ドウモ私ハマダ不十分ダト思ハレルノデア
リマス、ソコデ御伺致スノデアリマスガ、
丁度製造業者ニハ一ツノ酒造組合ト云フモ
ノガ設ケラレマシテ、是ガ各稅務署管内、
更ニ進ンデ縣ヲ一圓トシタ聯合會ト云フモ
ノガアリ、更ニ進ンデ中央會ト云フモノガ
出來テ居リマシテ、今日ハ相當此三階級ノ
組合ガ連絡協調シテ、業界ノ爲メ又國家ノ
財政ノ上ニ貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマス、
ソレデ私ハ酒類ノ販賣業者ニ對シマシテモ
ソツノ法律ヲ以テ組合ヲ組織サセ、サウシ
テ業者間ノ連絡提携ヲ圖リ、斯業ノ發展ニ資

セシメルヤウナ施設ヲ講ゼラレルコトへ適當ナモノデハナカラウカ、又一面免許制度ヲ致サレマシタ目的ヲモ、一層之ニ依ッテ達成シ得ルコトガ出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、只今政府ガストウ云フ問題ニ直グニ實現ニ乗出スト云フコトハ難カシイカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ御考ヲ持ッテオ居ニナラナイカト云フコトヲ、此機會ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 酒類販賣業者ノ間ニ於キマシテハ、現在商業組合ヲ組織シテ居ルモノアリマス、又同業組合ヲ組織シテ居ルモノモアリマス、此販賣免許制度ガ施行セラレマシタ後ニハ、出來ルダケ是等ノ組合ニ對シマシテ諸間致シマシテ、十分其意見ヘ尊重シテ免許ノ適否ヲ決メテ行キタイト存ジマス、更ニ進ンデ税務官廳ノ監督ノ下ニ、何カ販賣免許制度ニ伴ウテ、酒造組合類似ノ組合ヲ組織シタラドウカト云フコトハ、差當リ今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ、既設ノ商業組合又ハ同業組合等ト或ル程度ノ連絡ヲ取リマシテ、施行ノ圓滑ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第アリマス

目下ノ所ハナイト云フコトデアリマス、尙業組合ト云フモノデヤツテ居リマスモノニ、出来ルダケ統制サセルヤウニシテ、免許ヲ與ヘルツノ資料ト致シタイト云フコトデアリマスガ、洵ニ其點ハ結構デアリマスガ、ソレデモ尙ホ不徹底ノ嫌ヒガアルヤウニ考ヘマスノデ、將來サウ云フ點ヲ一ツ適當ニ御考究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。次ニ此前ノ議會デゴザイマスカ、酒造組合ノ一部改正ガアリマシテ、生産及ビ其他ノ統制ヲ取り得ラレルヤウニ御改正ニナッタノデアリマス、業界ハ十二酒造年度ヲ期シマシテ、或ハ生産其他販賣上ノ統制ニ乘出シテ居ルノデアリマスルガ、唯私ハ生産統制ノ上ニ於キマンシテハ、今事實的ニ統制ヲ致シテ居リマスル内容ヲ承リマスルト、丁度十二酒造年度ハ大體前酒造年度ノ生産高ヲ基準トシテ、ソレ以上ニ出ナイト云フヤウナ統制ヲ取ツテ居ルラシイノデアリマス、所ガソレハ先づ宜イト致シマシテモ、實際ニ於テ三百石以下、或ハ五百石以下ト云フヤウナモノト、千石以上或ハ二千石、三千石以上ト云フヤウナモノ、之ヲ或バカ度増産スル場合、割當テル時ニ非常ニソコニ開キガ生ジテ參リマシテ、假ニ五分バカ

リ増産スル場合ニアリマスト、五百石製造シテ居リマスモノハ僅ニ二十五石バカリデアル、所ガ三千石造ツテ居ルモノハ百五十石石バカリノ製造ヲ致シテ居リマスモノハ非常ニ歩ノ惡イヤウナ關係ニナラウト思フノデアリマス、斯ウ云フコトハ自治的ニヤツテ居リマスルガ、實ハヤハリ大藏省方面ノ諒解ヲ求メナケレバ、斯ウ云フモノハ中々出来ニクイノダラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ハ將來中央會、或ハ各府縣ノ聯合會ニ向ツテ、相當考慮スルヤウニ御注意ガアツテ然ルベキモノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、斯ウ云フ點ニ對スル當局ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

モ同ジ見解ヲ持ツテ居リマシタノデ、此自治的統制ノ趣旨ニ協力シテ、其實現ヲ期スルヤウニシテ行ッタノデアリマス、實際ニ於キマシテ、大酒造家ト中小酒造家ニ對シマシテハ、多少手心ガ違フ點ガアリマシテ、寧ロ御話トハ幾分違ヒマシテ、小醸造家ノ方ニ多少緩和サレテ居ルデハナイカト思ツテ居リマス、併ナガラ統制ニハ一面一ツノ制約ガアルノデゴザイマスカラ、各方面ニ於テ色々又不満ノ點ガアラウト思ヒマス、是ハ將來自治的統制ノ段々進ンデ來ルニ從ツテ十分考慮セラレナケレバナラヌコトダト存ジテ居リマス、私共ニ於キマシテモ其點ハ深ク留意シテ、此施行ノ圓滿ヲ期シタイト存ジテ居ル次第アリマス

テ居リマス所ノ地方競馬ハ、一枚ノ入場券ガ一圓デアリマシテ、是ガ一競馬一回毎ニ一圓ニ付テ一枚宛投票シ得ラレル、單複ノ場合ニ入場券ノ一圓ニ對シマシテ僅ニ二割ト云フモノヲ開催費ニ取得シテ、アトノ八割ト云フモノハ入場者ニ景品トシテ拂戻ノ形ニナッテ居リマス、實際ニ於キマシテ、地方競馬開催者ハ其ニ割ヲ以チマシテ此經營ヲヤッテ居ルノデアリマス、而モ之ニ付キマシテハ其全部ヲ開催費ニ充テサスコトヘ許シマセヌ、其中ノ大體五分程度ノモノヲ別ニ馬事施設トシテ割イテ、其地方内ニ於ケル所ノ產馬ノ改良ニ資シテ居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘテ見マスト云フト、此地方競馬ト云フモノノ目的ハ、全ク馬事ノ思想ヲ普及シ、馬匹ノ改良ヲ目的トシタモノデアリマス、而モ只今申上ゲマシタヤウニ、實際ノ費用シカ取ツテ居ナイ、時ニ依リマスト開催者自ラガ相當多大ノ損失ヲシナケレバナラヌト云フコトガ間々アルノデゴザイマス、殊ニ東北地方ノヤウナ馬產地方ニ於キマシテハ、極メテ入場者ガ少イノデ、事每ニ組合ガ缺損ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態ニアリマス、固ヨリ是ノ入場税ヲ取ルノハ開催

者カラ取ルノデナクシテ入場者カラ取ルノ
ダ、斯ウ云フ風ニ理論的ニ仰シヤルコトハ
御尤デアリマス、併ナガラ現實ノ問題ト致
シマシテハ、此地方競馬ノ如キハ、例ヘバ
一圓ノ入場券ニ對シマシテ十錢ト云フヤウ
ナ税金ヲ取ルナラバ、此「ファン」、所謂入
場者ハ減ルノデアリマス、是ガ減ツテ參リマ
スレバ税金ドコロデナク、競馬其モノガ收
支償ハナイデ開催スルコトガ出來ナイ、斯
ウ云フ結果ニ陷ルノデアリマス、從來ハ地
方稅ノ課ケラレテ居リマスル處ニ於キマシ
テモ、表面ハドウモ此入場者カラ取ル恰好
ニナシテ居リマスルガ、ヤハリ全部開催者ガ
入場者ニ代ッテ負擔ヲ致シテ居ルト云フノ
ガ、今日ノ現實ノ問題デアリマス、デアリ
マスルカラ、今日ハ地方稅ガ課ケラレテ居
ル地方モアリマスレバ、又課ケラレテ居ラ
ナイ地方モアリマスルガ、今日此處ニ盛ツテ
居ル内容ノ如キ課稅ヲサレル場合ハ、相當
「ファン」、入場者ト云フモノハ激減致シマ
シテ、競馬ガドウシテモ開催スルコトガ出
來ナイ破目ニ陥ルコトハ、火ヲ賭ルヨリモ
明カナ事實デアルノデアリマス、ソレデ私
共ハ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、地方
競馬ハ現在入場券一枚ニ對シテ一圓ダガ、
實際ハ組合ガ收得スルモノハ其二割ノ二十二

割ノ二十錢ニ對シテ課稅ヲサレタ方ガ極メ
テ合理的デナイダラウカ、左様ニ致シマス
レバ、現在ノ地方競馬規則ニ於キマシテハ、最
高單複二十四枚マデ投票ガ出來ルコトニナツ
テ居リマスカラ、最高ノモノヲ投票サレ
マス場合ニ於キマシテハ、一人ニ對シテ二
十四圓デアリマス、デアリマスルカラ、此
人ニ對シテハ四十八錢ト云フ稅ヲ出シテ貰
フコトニナル、一枚ヲ投票サレル方ハ二錢
稅ヲ出セバ宜イ、斯ウ云フコトニナルノデ
アリマス、ソコデ私ハ此間中資料ヲ求メテ
居リマスルガ、マダ私ノ手許ヘハ來テ居ラ
ヌヤウニ思ヒマスルガ、昭和十年、十一年、
十二年、是尋ノ三箇年間ノ全國ノ入場券ノ
賣上高デアリマス、是等ヲ對象ト致シマシ
テ、今申上ゲタヤウナ方法ニ依ヅテ課稅ヲサ
レルコトガ當然ノ行キ途デアル、斯様ニ考
ヘルノデアリマス、若シ政府ガ此入場券ト
云フモノニ對シテ一割デモ御取リニナルヤ
ウナコトダッタナラバ、是ハモウ根本カラ此
地方競馬ハ開催スル譯ニハ行カナイ、殊ニ又
假ニ實際ノ入場人員ニ對シテ別ナ入場券ヲ
發行シテ、ソレニ稅金ヲ課ケルト云フナラバ、
是モ一つノ方法デアリマス、併ナガラ實際ニ
於キマシテハ斯様ナ特別ナ入場券ヲ拵ヘマ

ト云フヤウナコト、即チ投票ト同一ノ性質ヲ持ツテ居リマスル入場券ノ外ニ、又別ニ斯底其負擔ニ彼等ハ堪ヘラレナイト思フノデアリマス、又是ガ徵稅ノ上ニ於キマシテモ、極メテ複雜ナル手數ヲ掛ケナケレバナラヌト云フヤウナコトニモナリマスノデ、極メテ簡単ナル方法ハ、今私共ガ考ヘテ居リマスル、此實質ノ開催者ノ收得トナルベキ二十錢ト云フモノニ對シテ稅ヲ御取リニナルヤウナコトニ御考直シヲナサレタナラバ、其方ガ却テ適當デハナカラウカトス様ニ考ヘルノデアリマスガ、先づ當局ノ所見ヲ聽イテ見タイト思フノデアリマス

方カラ答へテ貰フヤウニ取計ヒマス
○服部委員 稅ノ本質ト致シマシテ、入場
者カラ取ルコトハ是ハモウ當然デアリマス、
併ナガラ現實ノ問題トシテハ、今日ノ地方
競馬ハサウ參ッテ居ナイノデアリマス、參
テ居ナイモノヲ、コ、デサウ云フヤウナ
無理ヲシテ課稅ヲシテ取り得ルコトガ
出来ルダラウカ、現在皆課稅シテ居リマ
ス、例ヘバ是ハ私ガ聯合會長ノ關係トシテ
申上ゲルノデアリマスガ、地方稅ガ町村ト
縣トデ大體五分ト云フコトニナルノデアリ
マスカラ、一圓デ五錢ト云フ稅金ヲ出サナ
ケレバナラヌノデアリマス、之ニ對シテハ
狡イ考ヲ持ツテ居リマシテ、九十七錢ト云ツ
タヤウナ端數ノ入場料ニシマシテ、他ニ三
錢ト云フ稅金ヲクッ付ケタ形ニ致シテ居リ
マス、是ハ九十七錢ニ致シマスルト云フト、
端數ノ切下ゲニ依ッテ三錢ト云フコトニナ
リマスルカラ、九十七錢ト云フモノヲクッ付
ケニ、稅金ノ三錢ト云フモノヲクッ付ケテ
ヤツテリ居マスガ、結局ソレハ組合ガ持ツテ
居ルヤウナ關係ニナツテ居リマスルカラ、サ
ウ云フヤウナ方法デ御取リニナレバ宜イヂ
ヤナイカ、例ヘバ是ハ九十八錢ニ致シマス
ルト、其二割トスレバ十九錢、二十錢ニ足

心配モアリマスルケレドモ、併ナガラ九十八
錢ノ所ニ二錢ト云フ税金ヲ加ヘテ、一圓デ
入场券ヲ賣ルト云フヤウナ今ヤツテ居リマ
スル便法ヲ採ツタナラバ、結局ハ政府ノ意圖
スル所ノ税額ト私ハ大シタ差ガナカラウト
斯様ニ考ヘルノデアリマス、假ニ又其差ガ
多少アルニシテモ、ソレ位ノコトハ必シモ
サウ云フ所カラ取ル必要ハナイ、唯サウ云
フ人達ニ、此事變ダカラ吾々モ是レ位ナ税
金ヲ出サナケレバナラヌト云フ感ジサヘ與
ヘレバ宜イ、斯ウ云フ事變ダカラ吾々モ斯
ウ云フ税金ヲ出サナケレバナラヌト云フ感
ジサヘ與ヘレバ、ソレデ斯ウシタ入场税ノ
如キハ其目的ヲ達シ得ラレルト考ヘルノデ
アリマス、ソレデ別段農林省ト御相談ニナ
ラナクテモ、現ニヤツテ居ル方法ガサウ云
フ方法デアルカラ、サウ云フ方法デオヤリ
ニナル方ガ、其組合ガ徵稅ノ任ニ當ル場合
ニ於キマシテモ、極メテ簡単ナ手數デ納稅
出来ルコトニナリ、徵稅モ出来ルコトニナ
リマスガ、サウ云フヤウナ方法ハ考ヘラレ
ナイモノデアリマセウカ

活動寫真館ト云フヤウナ方面ニ付キマシテ
モ、或ハ收入ハアルガ、自分ノ所ノ經營ハ
斯ウ云フ風ニナツテ居ッテ、利益ガ非常ニ少
イノダト云フ風ナコトモ亦問題ニナツテ來
ルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレハ要
スルニ入場スル者ニ、入場料ヲ支拂フノヲ
基準ニシテ課稅スルノデアリマスカラ、畜
産組合ノ手取リヲ基準ニシテ課稅スルト云
フコトハドウシテモ考ヘラレナイノデハナ
カラウカ、斯ウ思ツテ居ル次第アリマス
○服部委員 ドウモ私ノ方ガ御答辯ガ分ラ
ナイ、現實ニ今ヤツテ居ル所デハ、個人力
ラ三錢稅金ヲ取ッテ居リマス、ソレハ詰リ九
十七錢ト云フ入場料ニ對シテ三錢ト云フ稅
金ヲ加ヘマスト、結局五分ノ稅金ニナツテ居
リマスケレドモ、サウ云フヤウナ一ト三ト
ノ割合ノ縣ト町村ノ附加稅ガアリマス、是
ハ切下ゲルト結局一錢ト二錢ト云フコトニ
ナリ、縣ガ二錢ニナリ、其開催地ニ存在シ
テ居ル町村ノ附加稅ガ一錢ニナル、斯ウシ
テ三錢ト云フモノヲ加ヘテ一圓デ入場券ヲ
賣ツテ居ル、是ハ現實ニ入場者ガ出シシテ居ル
ノデアリマス、ソコデ此結果カラ見テ、今
ノ二十錢ト云フコトヲ申上ゲタノデスガ、
ソレガ偶然ニモ地方稅ヲ取ッテ居ルノト始

ド同ジ結果ヲ招來スルノデアリマス、デアルカラ、是ハ決シテ畜産組合ガ出シテ居ルトカ、或ハ儲ケタ、儲ケヌト云々タ問題デハナイ、一枚一圓二錢ト云フヤウニシテ取ルト、結局大藏省ガ意圖サレテ居ルヤウナ稅額ハ入ッテ來ル譯デアル、收入ハアル、私ハスウ確信スル、ナゼナラバ地方競馬ニ於テハ一人デ單複二十四枚マデ投票出來ルノデアリマス、此競馬場ニ入場シテ二十四枚マ枚投票シタ者八十錢デ宜イ、斯ウ云フ不合デ投票シタ者ハ一圓四十錢稅金ヲ拂ヒ、一人デ單複二十四枚マデ投票出來ルノデアリマス、是ハ競馬ヲ實際ニオヤリニナレバハツキリ分ル筈デス、一人ノ人間ガ單複ノ場合ニハ一圓ノ投票券ヲ二十四枚マデ投票出來ルコトニナッテ居リマス、サウスルト一人デ二十四圓ト云フモノヲ競馬場内ニ於テ投票シタト云フコトニナリ、入場券ヲ買ツタト云フコトニナリ、觀ルノガ目的カ、或ハ投票スルノガ目的カ、斯ウ云フココトナッテ來ルト難カシイ問題デアルガ、現實ノ問題トシテハ二十四枚投票シタ者ハ一圓四十錢、一枚ノ四枚マデ最高ハ投票出來ルノデアリマス、トヲシナイデ、兎ニ角一枚二錢ト云フコト

ルカラ、是ハ決シテ畜産組合ガ出シテ居ルトカ、或ハ儲ケタ、儲ケヌト云々タ問題デハナイ、一枚一圓二錢ト云フヤウニシテ取ルト、結局大藏省ガ意圖サレテ居ルヤウナ稅額ハ入ッテ來ル譯デアル、收入ハアル、私ハスウ確信スル、ナゼナラバ地方競馬ニ於テハ一人デ單複二十四枚マデ投票出來ルノデアリマス、此競馬場ニ入場シテ二十四枚マ枚投票シタ者八十錢デ宜イ、斯ウ云フ不合デ投票シタ者ハ一圓四十錢稅金ヲ拂ヒ、一人デ單複二十四枚マデ投票出來ルノデアリマス、是ハ競馬ヲ實際ニオヤリニナレバハツキリ分ル筈デス、一人ノ人間ガ單複ノ場合ニハ一圓ノ投票券ヲ二十四枚マデ投票出來ルコトニナッテ居リマス、サウスルト一人デ二十四圓ト云フモノヲ競馬場内ニ於テ投票シタト云フコトニナリ、入場券ヲ買ツタト云フコトニナリ、觀ルノガ目的カ、或ハ投票スルノガ目的カ、斯ウ云フココトナッテ來ルト難カシイ問題デアルガ、現實ノ問題トシテハ二十四枚投票シタ者ハ一圓四十錢、一枚ノ四枚マデ最高ハ投票出來ルノデアリマス、トヲシナイデ、兎ニ角一枚二錢ト云フコト

ニ稅金ヲ定メテ徵收サレ、バ、結局政府ガ意圖サレテ居ルダケノ稅額ハ入ッテ來ルノニアリマスカラ、ソレデ行カナイモノデアリマセウカ、私ハソレデ宜イノデハナイカ

ト思フ、若シ左様ナ方法デナイト、此地方競馬ノ目的トモ相當離レルト思フ、又サウニアコトニナル、サウ云フヤウナ結果ヲ招

云フコトニサレタナラバ、必ズ地方競馬ハ何處ノ府縣デモ一ツモ開催スルコトガ出來

ナイコトニナル、サウ云フヤウナ結果ヲ招

來シテモ稅ヲ取ラナケレバナラヌト御考ヘ

ニナルノデアルカ、或ハ政府ノ意圖スル稅額ダケ入ッテ來レバ、多少他ノ稅金トノ釣合

ガ取レナクテモ宜イノデハナイカト考ヘマスガ、更ニ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 地方競馬ノ所謂入場料ト云フコトデ、大藏省ノ方ノ御方ハ、ヤハ

ガ取レナクテモ、二十四枚買ツテモ皆入場ス

リ實質上ノ入場料デアルケレドモ、投票券ハ一枚買ツテモ、二十四枚買ツテモ皆入場ス

ルノダカラ、買ツタ其實數ヲ以テ割ツタモノガ、即チ入場料ニナルカラニ、サウ云フ風ニ

云フモノノ中ニハ、實質上入場料ト認メ難イ分ガ入ッテ居ルヤウニ思ハレマス、ソレハ仰セノ通リデゴザイマス、サウ云フ點モゴ

ザイマスノデ、他トノ均衡モ考慮致シマシテ——是ハ先ニ御説明致シテ置イタ筈デア

リマスガ、地方競馬ニ付テハ、入場ノ爲メ支拂フベキ金額ヲ其入場券ニ添付セラレテ

居リマスガ、地方競馬ニ付テハ、入場ノ爲メ數デ除シテ得タ金額ニ依ルト云フ風ニスル居リマスカラ、ヤハリ競馬モ其意味ヲ以テ

積リデアリマスカラ、御示シノ單複二十四枚ヲ買ツテ入ッタ者ニ對シテ一圓四十錢ノ課

税ニナルト云フコトハ起ラナイト思ヒマス

○服部委員 優秀馬投票券ト仰シヤイマスガ、地方競馬ニハ優勝馬ノ投票券ト云フモ

ト思フ、若シ左様ナ方法デナイト、此地方競馬ノ目的トモ相當離レルト思フ、又サウニアコトニナル、サウ云フヤウナ結果ヲ招

來シテモ稅ヲ取ラナケレバナラヌト御考ヘ

ガ此間申上ゲタヤウニ、實質上ノ入場料ニ

對シテ百分ノ一ヲ課シタラ宜イデハナイカ

ガ取レナクテモ宜イノデハナイカト考ヘマスガ、更ニ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 只今服部君ト大藏當局ノ御話ヲ伺ッテ居リマスト、服部君ノ御趣旨ハ、私

ガ此間申上ゲタヤウニ、實質上ノ入場料ニ

換券ノ票數デ除スト云フノデアリマス

○小串委員 優勝馬投票券ノ投票證引

ト云フコトヲ課セラレル處ガアル、何

万ト云フ人ガ出タリ入ッタリスル其人達ヲ

一々チャント調ベルト云フコトハ、實際上出來ナイ、ソレハ總テ一人ト見テ置ケバ宜シイ、斯ウ云フ譯デ今ノ御趣意デ行ケバ宜

イノデスケレドモ、實際ノ問題ニ付テサウ云フコトヲ調ベルノハ非常ニ面倒デヤナイカ、ダカラ私ハ大藏省ノ御考ニナッテ居ルコトハ正シイト思ヒマスケレドモ、實際ニ行

フコトハ出來ナイ、稅ヲ餘計取りタイト思

ト云フヤウナ危險モ伴フ、ダカラ徵稅上カラ行ケバ非常ニ面倒デアリマスカラ、私ハ寧ロコチラノ仰シルヤウナ方法ガ一番徵稅

バ、其タビニ一圓ツツ買ツテヤルト云フコトニナリマスト、若シ其場合ニソレヲ皆

一圓デ除スト云フコトニナレバ、其人ガ八回モ十回モサウ云フコトヲスルト、皆一

圓トシテノ稅金ヲ課セラレル處ガアル、何

トニナリマスト、若シ其場合ニソレヲ皆

一圓デ除スト云フコトニナレバ、其人ガ八回モ十回モサウ云フコトヲスルト、皆一

圓トシテノ稅金ヲ課セラレル處ガアル、何

バ、其方ガ簡單デハナイカ、私ハ此點ハ全然コチラト同ジ主張ヲ持ッテ居リマス、併シ今仰シヤルヤヲナ方法モ一ツノ合理的ナ方法デアリマスカラ、サウ云フ徵稅上ノ便利ト兩方ヲ兼ネテ——茲ニ例ヘバ二十四枚デ終ル者モテレバ、一枚モアレバ、八枚モアレバ、十五枚モアル、故ニ之ヲ假定ノ數字ヲ以テ十枚ナラ十枚ヲ以テ除シタ數字トナルト——東京附近ハ大抵優勝馬投票券ノ澤山行使サレル競馬デアルガ、サウ云フヤウナ命令ヲ以テ、斯ウ云フ課稅ノ場合ニ、投票券ノ十分ノ一ガ假定ノ入場者ト推定シテ取ルト云フ方法デモ採ッタラ、今大藏省デ考ヘ當ニ一枚ヅ、買ツタ者ヲ皆入場者ト見ルカ、或ハ内ニ入ッテチヨイヽ投票券ヲ買ッテモ、ソレハ同一人ガ内ニ於テヤッテ居ルコトカラ、皆一ツニ見ヨウデヤナイカト云フノハ、理窟ハ非常ニ宜イノデスガ、實際ニソレヤルコトハ困難デハナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居リマス、此點ニ付テオ役所ノ方デモ理窟モアリ、又實際徵稅上ノ便利モアルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、アルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、之ヲ私ハ御尋ヲスル譯デアリマス

○大矢政府委員 要スルニ入場料ヲ支拂ッテ入ッタ者ニ對シテハ、今ノ一圓ヲ入場料ト

見テ課稅スル、斯ウ云フ結果ニナリマス、唯今小串サンカラノ御話ノヤウナ實情ガ從來アッタト致シマスレバ、私共ハ考ヘマスルニ、是ハ本稅法ガ布カレタ後ト前トデハ、終ル者モテレバ、一枚モアレバ、八枚モアレバ、十五枚モアル、故ニ之ヲ假定ノ數字來アッタト致シマスレバ、私共ハ考ヘマスルニ、是ハ本稅法ガ布カレタ後ト前トデハ、終ル者モテレバ、一枚モアレバ、八枚モアレバ、十五枚モアル、故ニ之ヲ假定ノ數字ヲ以テ十枚ナラ十枚ヲ以テ除シタ數字トナルト——東京附近ハ大抵優勝馬投票券ノ澤山行使サレル競馬デアルガ、サウ云フヤウナ命令ヲ以テ、斯ウ云フ課稅ノ場合ニ、投票券ノ十分ノ一ガ假定ノ入場者ト推定シテ取ルト云フ方法デモ採ッタラ、今大藏省デ考ヘ當ニ一枚ヅ、買ツタ者ヲ皆入場者ト見ルカ、或ハ内ニ入ッテチヨイヽ投票券ヲ買ッテモ、ソレハ同一人ガ内ニ於テヤッテ居ルコトカラ、皆一ツニ見ヨウデヤナイカト云フノハ、理窟ハ非常ニ宜イノデスガ、實際ニソレヤルコトハ困難デハナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居リマス、此點ニ付テオ役所ノ方デモ理窟モアリ、又實際徵稅上ノ便利モアルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、アルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、之ヲ私ハ御尋ヲスル譯デアリマス

○大矢政府委員 要スルニ入場料ヲ支拂ッテ入ッタ者ニ對シテハ、今ノ一圓ヲ入場料ト

見テ課稅スル、斯ウ云フ結果ニナリマス、唯今小串サンカラノ御話ノヤウナ實情ガ從來アッタト致シマスレバ、私共ハ考ヘマスルニ、是ハ本稅法ガ布カレタ後ト前トデハ、終ル者モテレバ、一枚モアレバ、八枚モアレバ、十五枚モアル、故ニ之ヲ假定ノ數字ヲ以テ十枚ナラ十枚ヲ以テ除シタ數字トナルト——東京附近ハ大抵優勝馬投票券ノ澤山行使サレル競馬デアルガ、サウ云フヤウナ命令ヲ以テ、斯ウ云フ課稅ノ場合ニ、投票券ノ十分ノ一ガ假定ノ入場者ト推定シテ取ルト云フ方法デモ採ッタラ、今大藏省デ考ヘ當ニ一枚ヅ、買ツタ者ヲ皆入場者ト見ルカ、或ハ内ニ入ッテチヨイヽ投票券ヲ買ッテモ、ソレハ同一人ガ内ニ於テヤッテ居ルコトカラ、皆一ツニ見ヨウデヤナイカト云フノハ、理窟ハ非常ニ宜イノデスガ、實際ニソレヤルコトハ困難デハナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居リマス、此點ニ付テオ役所ノ方デモ理窟モアリ、又實際徵稅上ノ便利モアルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、アルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、之ヲ私ハ御尋ヲスル譯デアリマス

○大矢政府委員 要スルニ入場料ヲ支拂ッテ入ッタ者ニ對シテハ、今ノ一圓ヲ入場料ト

見テ課稅スル、斯ウ云フ結果ニナリマス、唯今小串サンカラノ御話ノヤウナ實情ガ從來アッタト致シマスレバ、私共ハ考ヘマスルニ、是ハ本稅法ガ布カレタ後ト前トデハ、終ル者モテレバ、一枚モアレバ、八枚モアレバ、十五枚モアル、故ニ之ヲ假定ノ數字ヲ以テ十枚ナラ十枚ヲ以テ除シタ數字トナルト——東京附近ハ大抵優勝馬投票券ノ澤山行使サレル競馬デアルガ、サウ云フヤウナ命令ヲ以テ、斯ウ云フ課稅ノ場合ニ、投票券ノ十分ノ一ガ假定ノ入場者ト推定シテ取ルト云フ方法デモ採ッタラ、今大藏省デ考ヘ當ニ一枚ヅ、買ツタ者ヲ皆入場者ト見ルカ、或ハ内ニ入ッテチヨイヽ投票券ヲ買ッテモ、ソレハ同一人ガ内ニ於テヤッテ居ルコトカラ、皆一ツニ見ヨウデヤナイカト云フノハ、理窟ハ非常ニ宜イノデスガ、實際ニソレヤルコトハ困難デハナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ッテ居リマス、此點ニ付テオ役所ノ方デモ理窟モアリ、又實際徵稅上ノ便利モアルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、アルト云フコトヲ御考ニナラレタカドウカ、之ヲ私ハ御尋ヲスル譯デアリマス

○大矢政府委員 要スルニ入場料ヲ支拂ッテ入ッタ者ニ對シテハ、今ノ一圓ヲ入場料ト

リマスカラ、是等ヲ若シ徵稅者ガ取締ルニ
ハドウシテ斯ウ云フモノヲ取締ルカ、要ハ
此入場券其モノニ付テノミ課稅スルヨリ方
法ガナインデアリマシテ、其間ニ地方競馬
ノ執行上中々至難ナ問題ガ實ハソコニ現レ
テ來ルノデス、ダカラ願クバ吾々ノ企圖シ
テ居ルヤウナ方法、課稅ヲサレルヤウニ、
一ツ農林省トモ特ニ御相談ヲ願ッテヤッテ戴
ケバ、政府ニ於キマシテモ、又ソレヲ開催
スル立場ニ居ル中間ノ者ニ於キマシテモ、
又入場者ニ於キマシテモ、極メテ簡便ニ擔稅
スルコトガ出來得ル方法、アルト考ヘテ居
ルノデアリマス、ドウカ此點ニ付テハ特ニ
近ク農林當局ト御研究ヲ願ッテ、更ニ此委員
會中ニモウ一度御意見ヲ伺フ機會ヲ作ッテ
戴キタイト御願ラ致シテ置キマス、尙ホ私
ハ國稅ト致シマシテ入場稅ヲ課ケラレマス
以上ハ、從來地方ガ觀覽料トシテ課稅致シ
テ居リマシタモノハ、是ハ大藏省トシテハ
御認メニナラナイモノダト考ヘテ居リマス
ガ、此點ヲ一ツハッキリ御所見ヲ伺ッテ置キ
タイト思フノデアリマス

○大矢政府委員 女子供供無料デ入ッテ居
ル者モ澤山アル、斯ウ云フ者ハドウスルカ
ト云フ御尋デゴザイマシタガ、ソレ等入場
料ヲ支拂ハズシテ入ル者ニ對シテハ、勿論
上ゲタヤウナヤリ方ヲスレバ、實際非常ニ
煩ハシイ困難ナ問題ガ起ツテ來ルノデハナ
イカト云フ御話デゴザイマスガ、之ヲ防止
票券ハ幾ラヲ用意シテ居ル、或ハ十枚綴ノ
モノハ幾ラヲ用意シテ居ル、單複兩方デ最
高二十四枚綴ノモノハ幾ラヲ用意シテ居ル、
サウシテ競馬ガ終タ後デ實際賣レタモノ
ハドレ程ダト云フヤウナ計算ヲハッキリシ
テ置キマスレバ、一目瞭然ニナルノデハナ
カラウカト存ズル次第デアリマス、ソレカ
ラ地方稅ニ付キマシテハ、國稅トシテ入場
稅ヲ課シマスル際ニ、課稅標準トナッタ入場
料ニ相當スル部分ニ對シテハ、地方稅ノ附
加ハ認メナイ積リデアリマス

○服部委員 只今ノ所謂課稅ノ方法デスガ、
ソレハ簡單ニサウ云フコトヲ仰シヤッテモ
駄目デス、何故ナラバ假ニ十二枚クッ付イ
ク札デアリマス、之ヲ一人デ買ッテ内ニ入ッ
テ之ヲ分ケテ皆ニヤッタラドウスルノデス、
十二枚ノ札ヲ十二人ニ一枚ヅ、内ニ入ッテ
カラ分ケタラドウスルノデスカ、五枚綴ノ
札ヲ内ヘ入ッテカラ一枚ヅ、分ケタラドウ
スルノデスカ、其取締ハドウシテ出來ルカ、
左様ナコトハ長ク經驗ヲシテ非常ニ苦心サ

入場稅ハ課稅致シマセヌ、ソレカラ先程申
上ゲタヤウナヤリ方ヲスレバ、實際非常ニ
煩ハシイ困難ナ問題ガ起ツテ來ルノデハナ
イカト云フ御話デゴザイマスガ、之ヲ防止
票券ハ幾ラヲ用意シテ居ル、或ハ十枚綴ノ
モノハ幾ラヲ用意シテ居ル、單複兩方デ最
高二十四枚綴ノモノハ幾ラヲ用意シテ居ル、
サウシテ競馬ガ終タ後デ實際賣レタモノ
ハ五枚綴タモノヲ買ッテ來テ、ソレヲ皆デ
モケテサウシテ投票ガ出來ルノデスカラ、殊
ニ今度ハサウ云フモノニ稅金ガ課ルトスレ
バ、一層サウ云フ巧妙ナ脫稅ノ方法ガ合法
ニ出來ル、是ダケハ御考ニナッテ置カレナ
ガ全部正直ナ、眞面目ナ人ナラバ、サウ云
フコトモ出來マセウ、併シ恐ラク多數ノ入
場者ノ中ニハ、拔ケラレタラ拔ケヨウト云
フコトヲ考ヘテ居ル者モ相當アリマスカ
ラ、其點ハドウシテ御取締ニナルノデスカ
○大矢政府委員 御話ノヤウナコトガ、特
ニ入場稅ノ負擔ヲ避ケヨウト云フヤウナ趣
旨デ盛ニ行ハレルト致シマスレバ、相當考
慮シナケレバナラヌ問題カト思ヒマス、私
ハ地方ノ畜產組合ガ入場券ヲ賣ル場合ニ、
優勝馬投票券ノ投票證引換券ガ五枚附イテ
居ルナラ五枚、十枚附イテ居ルナラ十枚ヲ
賣ル、ソレヲ購入シタ人ガ後ニナッテソレヲ
分配スル、目茶苦茶ニスルト云フコトヲ豫
想シテ賣ルモノデアルト云フヤウナコト
ハ、果シテ實際サウ云フモノデアルカドウ
カ、俄ニ此席デ判斷ヲ致シ兼ネマス

○服部委員 是ハ何時マデ言ッテモ駄目デ
スカラ、御参考マデニ申上ゲテ置クカラ能
ク御研究ニナッテ貴ヒタイ、是ハ今稅金ガ課
ラナイ時デモ、一枚買ッテ來テソレラ三人、
五人デ分ケテ投票シテ居ルノデスカラ、殊
ニ今度ハサウ云フモノニ稅金ガ課ルトスレ
バ、一層サウ云フ巧妙ナ脫稅ノ方法ガ合法
ニ出來ル、是ダケハ御考ニナッテ置カレナ
ガトトニ是ハ御参考マデニ申上ゲルノデス
カ……

○高橋委員長 一寸服部君ニ御注意申上ゲ
マス、服部君ハ御参考マデト申サレマスガ、
此委員會デ相當ノ實行ノ出來ル適當ノ稅法
ヲ作ラナケレバナラヌノデスカラ、アナタ
ノ御希望ハ政府ニ考慮ヲ煩シテ置イテ、次
ノ機會ニ又政府ノ結論ヲ聽カウト仰シヤル
譯デハナイノデスカ

○服部委員 先刻申上ゲマシタ通り、此委
員會中ニ能ク農林省ノ方ト御研究下サッテ、
サウシテ其結果ヲ伺フ機會ヲ作ッテ戴キタ
イ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居タノデアリ
マス、要スルニ私ノ申上ゲマシタコトヲ參
考トシテ、此委員會中ニ何等カノ御明答ガ
願ヘルヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フコト
デアリマス——此地方稅ハ結局只今御話ノ
ヤウニ、縣ガサウ云フ趣旨ノ下ニ稅金ヲ課

ケサセナイヤウニスル、所ガ更ニ一步進ン
デ競馬ノ地元ノ町村ガ單獨ニサウ云フ課稅
ヲ行フ場合ニ於キマシテモ、政府ハソレニ
許可ヲナサラナイモノトハ考ヘテ居リマス
ガ、此點尙ホ一段政府ノ御所見ヲ伺ッテ置キ
タイト思ヒマス

○高橋委員長 此場合高橋農林政務次官カ
ラ發言ヲ求メテ居ラレマス

○高橋政府委員 先程服部君カラ農林省へ
御質問ガアツカサウデアリマス、ソレニ對シ
テ御答ヲ申上ゲマス、購買組合ノ賣却ナル
行爲ハ組合員ニ對シ代價ヲ徵シテ物品ヲ配
給スル行爲デアツテ、其行爲ヲ酒稅關係ニ於
テ販賣ノ中ニ含マセマシテモ妨ハナイト考
リマス。

○服部委員 幸ヒ只今農林政務次官カラ先
刻ノ私ノ質問ニ對シテ答辯ヲシテ戴キマシ
タカラ、此機會ニ一言ダケ御尋致シテ置キ
タイト思ヒマス、賣却ト云フ言葉ヘ、要ス
ルニ第三者カラ組合員ノ經濟ノ爲ニ、或ハ
生産ノ爲ニ、物品ヲ購入シテ、ソレヲ原價
「プラス」手數料デ配給スルト云フコトガ、
購買組合ノ目的デアリマス、無論此間ニ原
價「プラス」手數料「プラス」利益ナラバ、是

ハ私ハ營利行爲、利益ヲ目的トシタヤウニ
考ヘラレル、左様ナコトハアリ得ベカラザ
ルコトデアリマスガ、特ニ酒類ナンカノ賣
却ヲ致シテ居リマスル内容ノニ三ヲ私ハ聞
イタノデアリマスルガ、組合ガ一時見込買
ヲスル、今酒ヲ買ッテ置ケバ安イ、ソレヲ相
當多量ニ買込ンデ、組合ニ於テ之ヲ貯藏シ
テ、サウシテ之ニ手數料「プラス」割水ヲ以
テ賣却ヲ致シテ居ル、手數料ハ宜シイガ、
割水ヲスルト云フコトハ、是ハ利益ニナラ
ナイカドウカ、原價「プラス」手數料ナラバ
宜シイガ原價「プラス」手數料「プラス」割水
ト云フト、是ハドウモ利益ヲ目標ニシヤシ
ナイカト云フ疑ガ起ルノデアリマスガ、併シ
此點ハ餘リ私モ追究ハ致シマセヌケレドモ、
サウナルト要スルニ又大藏省ノ方カラ狙ハ
レテ、税金ノ問題等モ起シテ來ルト思フ、サ
ウ云フ點ガアリマスカラ、此處ヲ私ハ何時モ
農林大臣ニモ言フノデアリマス、購買組合
デモ、購買組合デモ、能ク組合ノ精神ヲ徹
底サシテ行カナケレバイカヌ、一體利潤デ
アルトカ、或ハ利益ト云フコトヲ少シデモ
産業組合ニ考ヘサセルコトガ、根本ニ於テ間
違デアル私ハ何時モ組合員ノ人ニヨク言フ、
タル信念デ指導シテ行カナケレバナラヌト

ハ私ハ營利行爲、利益ヲ目的トシタヤウニ
考ヘラレル、左様ナコトハアリ得ベカラザ
ルコトデアリマスガ、特ニ酒類ナンカノ賣
却ヲ致シテ居リマスル内容ノニ三ヲ私ハ聞
イタノデアリマスルガ、組合ガ一時見込買
ヲスル、今酒ヲ買ッテ置ケバ安イ、ソレヲ相
當多量ニ買込ンデ、組合ニ於テ之ヲ貯藏シ
テ、サウシテ之ニ手數料「プラス」割水ヲ以
テ賣却ヲ致シテ居ル、手數料ハ宜シイガ、
割水ヲスルト云フコトハ、是ハ利益ニナラ
ナイカドウカ、原價「プラス」手數料「プラス」割水
ト云フト、是ハドウモ利益ヲ目標ニシヤシ
ナイカト云フ疑ガ起ルノデアリマスガ、併シ
此點ハ餘リ私モ追究ハ致シマセヌケレドモ、
サウナルト要スルニ又大藏省ノ方カラ狙ハ
レテ、税金ノ問題等モ起シテ來ルト思フ、サ
ウ云フ點ガアリマスカラ、此處ヲ私ハ何時モ
農林大臣ニモ言フノデアリマス、購買組合
デモ、購買組合デモ、能ク組合ノ精神ヲ徹
底サシテ行カナケレバイカヌ、一體利潤デ
アルトカ、或ハ利益ト云フコトヲ少シデモ
産業組合ニ考ヘサセルコトガ、根本ニ於テ間
違デアル私ハ何時モ組合員ノ人ニヨク言フ、
タル信念デ指導シテ行カナケレバナラヌト
タセルト云フコトカラ、組合其モノガ資本
云フコトモ、免許ヲ與ヘルト云フコトニナ
ルコトデアリマスガ、結果デアルト思フ、ソコニヤハリ利潤ト云
フコトヲ考ヘルコトモ、是亦已ムヲ得ナイ、
併ナガラ産業組合ノ人達ハ相當利潤ト云フ
コトヲ考ヘテ居ル、是ガ私ハ此産業組合ノ
別ニ私ハ産業組合ニ免許ヲ與ヘル必要ハナ
イト思フ、彼等ハ組合員ノ物ヲ自ラ買フノ
デアル、賣ルノデハナイ、買フノニ對シテ
免許ヲ與ヘルコトハ矛盾撞著シタコトヲ
免許ヲ與ヘルコトハ矛盾撞著シタコトヲ
ルニ大藏省ハ斯カ云フ矛盾撞著シタコトヲ
ヤツテ居ラレル、私ハ餘リ之ヲ責メヨウトハ
考ヘナイ、購買組合ハ買フ方デ、賣ル方デ
ナイ、買フ方ニ對シテ免許ヲ與ヘルト云フ
ニ組合自體ガ僅ナ利益ヲ見ルト云フコトガ、
バ其物ニ利益ヲ必ズ見テ居ル、組合員ニ安
クサヘ買ツテヤレバ宜ニモ拘ラズ、其中間
必ズ將來組合ヲ危クスルモノダトス様ニ考
ヘテ居ル、コ、能ク農林省ガ完全ナル指導
精神ヲ以テ行カナイト、私ハ將來ノ産業組
合ト云フモノハ、購買組合ニシマシテモ、
販賣組合ニシテモ、將タ信用組合ニシテモ、
不合理的マツタ話デアル、私ハヨクコンナ法
律ガ出来タト呆レテ居ル、賢イ方ガ寄シテ居
ラレル大藏省ガ、斯ウ云フモノニ免許ヲ與
ヘナケレバナラヌト云フコトハ、ドウモ私
ハ理窟ノ上カラ言ウテモ、理論ノ上カラ言
ウテモ、ドウシテモ理解スルコトガ出來ナ
イ、買フ方、消費者デアル、賣ルノデハア
リマセヌ、販賣業者デアリマセヌ、此モノ
ニ免許ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ少シク
ドウカシタ考ダトス様ニ考ヘテ居リマスル
ガ、今ソレヲ私ハ敢テ意見ヲ聽カウトヘ思
ヒマセヌ、特ニ此産業組合ガ免許ヲ受ケテ

酒ヲ扱フコトニナルト、自然ソコニ販賣利潤ト云フモノヲ考へテ來ルカラシテ、ソコハ能ク農林省ガ指導シテヤラナケレバナラニ對シテ尙ホ御伺致シタイ點モアリマスガ、是ハ保留致シテ置キマシテ、私ノ質問ハ大體是デ打切りマス

○大矢政府委員 購買組合ニ於キマシテ偶
組合員個々ノ者カラ酒ノ買入ノ委託ヲ受ケ
マシテ、其組合ガ他カラ酒ヲ買入レテ其ノ
委託シタ者ニ配給スル場合モアリマショウ

八 例シ豫メ組合員カ組合ノ方ガテ買ドト云
ノヲ豫想シマシテ他カラ買テ置イテ組
合員カラ註文ヲ受ケテ賣却スルト云フ場合ニ
ハ販賣ニ該當スル、隨テサウ云フ場合ニハ
免許ヲ要スル、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス
ソレカラ此國稅ノ入場稅ノ課稅標準トナ
ル所ノ入場料ニ對シテハ、地方ノ附加稅ハ
認ヌマセヌ、唯ソレ以外ノ入場料ニ對シテ、
特別ノ地方ノ課稅ヲスルカドウカト云フコ
トニ付テハ、地方團體ノ財政狀況等ニ依リ
マシテ、個々ノ場合ニ許可ヲ受ケテヤリ得
ルノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ル次第
デアリマス

ルコト非常ニ違ツテ居リマス、現ニ從來カラ國稅ニ對シテハ地方ハ大體ニ於テ附加稅ヲ取ツテ居ル、殊ニ斯ウ云フ事變ノ場合ニ於テ、斯ウシタ特殊ナ稅ヲ國稅ニ於テ設ケマシタ時ニ於テハ、地方ニ對シテハサウ云フ獨立的ナ稅ヲ認メナイヤウニサレテ來居ルヤウニ考ヘル、然ルニ只今ノ御話ニ依リマスト、地方ハ地方デ別ニ考ヘルト云フ、其場合ニハ所謂許可ヲ出願シテ來ルガ、ソレニ許可ヲ與ヘラレルカ與ヘラレナイカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ政府ハ許可ヲ與ヘラレルノデアリマスカ、御認メニナルノデアリマスカ、此點ヲ更ニ承ツテ置キタイノデアリマス尙ホ、豫メ買フモノナリトノ豫斷ノ下ニ賣フ買入レテ置クト云フコトハ一ツノ販賣ダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスノハ、恐ラク産業組合ノ方ニ御精通ニナツテ居ナイカラダト思フノデアリマシテ、購買組合ノ定款ヲ御覽ニナリマスレバ、恐ラク賣却品ト云フモノハアリマセヌ、定款ニ依レバ、第三者カラ購買組合ガ買フモノハ全部購買品デアリマス、全部購買品トシテ取扱ツテ居リマス、是レ以外ニ定款ニハ何モナイト私ハ思シテ此購買組合ガ第三者カラ物ヲ買入レルモノハ決シテ販賣品デアリマセヌ、必ズソレノ對象ヘ消費デアリマス、ダカラシテサウ云フハ餘程御考ヘニナラスト、產業組合ノ將來ニ於キマシテモ、サウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルト私ハ甚ダ宜クナイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、是ハ農林省ニ聽イテモ宜シイノデアリマスガ、高橋サン、御答辯ガシテ戴ケルナラバ一ツシテ戴キタイト思ヒマス

○高橋政府委員 成程御説ノ通り、購買組合ノ仕事ハ組合員ノ註文ニ應ジテ買フ場合モアリマス、ソレカラ又豫メ註文ヲ豫測シテ買フ場合モアリマス、ソレハ購買組合ソレ自體カラ言フト買フノデアリマス、デアリマスガ、併ナガラ其買ツタ品物ヲ組合員ニ時價ヲ以テ頒ツノデアリマスカラ、ヤハリ販賣ト云フ中ニ含マレルノダト考ヘマス

○服部委員 私ハモウ敢テ追究シヨウトハ思ハナイノデアリマスガ、高橋サンガサウ云フ考デ産業組合ノ指導ニ當ツテ居ラレルト云フト、ソレハ非常ニ危険デスヨ、購買組合ト云フモノハ絶対ニ賣ルト云フヤウナ行爲ハナイノデス、賣ルト云フ行爲ハ絶對

ニナイノデスヨ、賣却ト云フ言葉ガ使ハレ
テ居ルケレドモ、是ハ要スルニ其内容ハ組
合員ノ消費ニ直接持ツテ行クノデス、ダカラ
シテ組合員ガ多分買ウテ吳レルグラウト云
フヤウナコトヲ豫期シテ物ヲ買フト云フ
ヤウナコトハ、今日ノ産業組合ニハ本當ハ
許サレテ居リマセヌ、ソンナコトヲ許シタ
ラ大變デスヨ、サウ云フヤウナ指導精神ヲ
以テ組合ヲ監督サレテ居ッタラ、是ハ組合
ヲ潰シテシマフコトニナリマス、サウ云フ
行爲ハ組合トシテ斷ジテ許サレルモノデハ
ナイ、組合ノ經濟ニ必要ナル物ヲ組合カラ
委託スルト云フコトハ殆ドアリマセヌ、組
合員ノ委託ト云フモノハナイ筈デス、賣ル
場合ニハ委託ト云フヤウナコトモ殆ドナイ
筈デス、唯値段ヲ組合員ニ委セテシマッテ
賣ル場合ト、入札ニ依ツテ賣ル場合ト、販賣
ノ方法ニハ幾ツモアリマス、販賣組合ニ於
テモサウナノデアリマス、ダカラサウ云フ
考ハ間違ツテ居ルト云フコトヲ私ハ特ニ斷
言ヲシテ置キマス

題ニナリマシタガ、私ノ言葉ガ少シ足リナ

クテ誤解サレテ居ルヤウデアリマスガ、固

ヨリ産業組合ノ精神カラ言ヒマシテ、營利

ヲ目的トシナイ組合員ノ經濟用品、若クハ

生産ニ必要ナル物品ヲ購買シテ、頒布スルト

云フノガ使命デアリマス、隨テ思惑的ニ、

是ハ高クナルカラ今買シテ置カウトカ、是ハ

安クナルカラ早ク賣捌カウト云フヤウナ作

爲的ナコトヲシテ、其組合自體ガ營利ヲ目

的トスルト云フコトハ、是ハ絕對ニ慎シマ

ナケレバナラヌコトハ御説ノ通リデアリマ

ス、私ガ時價ト申上ゲマシタノヘ、是ハ組

合ノ指導精神トシテハ今申上ゲタヤウナ關

係デアリマスガ、實際問題トシテ組合ノヤッ

テ居リマスコトハ、例ヘバ肥料ノ如キニシ

テモ、最後ニ於テハ所謂原價ニ對シテ手數

料ト云フコトニ取纏メルノデアリマスケレ

ドモ、二車、三車ト云フ風ニ豆粕ナラ豆粕

ヲ買込ンデ、サウンシテ之ヲ組合員ノ要求ニ

應ジテ分配スルト云フヤウナ場合ニ於キマ

シテハ、ヤハリ今ノ相場ガ是々ダカラツ

是デ賣ツテ吳レナイカト云ヘバ、其時價ニ

ルト云フ意味ニ於テ、私ハ時價ト云フコト

ヲ申上ゲタノデアリマシテ、是ハ營利ヲ目

價ニ當嵌メルデハナイト云フコトヲツ御
諒解ヲ願ヒタイト存ジマス

ソレカラ産業組合ニ對スル指導精神ハ、
先程アナタガ、御述ベニナッタ通り私ハ同感ナ

ノデアリマシテ、隨テ農林省ガ産業組合ニ
對シマシテノ色々ナ指導ヲスル上ニ於キマ

シテモ、配當モ成ベク出資ニ對スル配當ヨ

リモ、其組合ヲ利用シタ特別配當ト云フコ

トニ重點ヲ置ケト云フ風ナ指導ヲシテ、假

ニ剩餘金ガ出テモ、ソレハ其組合ヲ利用シ

タ者ニ割當テ分配スルト云フノガ合理的

ダト云フヤウナコトデ指導シテ居ルノデア

リマスシ、又剩餘金ヲ澤山出スコトヲ役員

ノ手柄トスルヤウナ弊ガアルコトハ御説ノ

通リデアリマシテ、私ハ是ハ大キナ間違ヒ

デアルト云フコトヲ常々主張シテ居ル一人

デアリマシテ、此點ニ對シテハ、アナタノ

御意見ト全ク同一デアルコトヲ茲ニ申上ガ

テ置キマス

當局ニ御尋致シマシテ御回答ヲ得タコトガ
答デハ、先刻大矢政府委員カラ御答ニナリ

マシタヤウニ、其枚數デ割ツテ得タモノニ
對シテ一割ヲ付ケル、結局一圓ノ一割トナッ

テ十錢ヲ付ケルノダ、五枚アレバ五デ割ル、
十枚ナラバ十デ割ル、十二枚附ケレバ十二

デ割ルト云フ話デ、一應是デ宜カラウト思

ヒマシタガ、今服部君ノ段々ノ御質問デ、
是デハ脫稅勝手放題、五枚券ヲ買ツテ中ニ

入ツテ、五枚ニ割キ、十枚券ヲ買ツテ十二ニ割

イテシマヘバ、結局十人ニ對シテタッタ十

錢ノ入場料ニナッテシマフ、一人ガ一錢ノ入

場料ニナッテシマフ結果ニ陥ルカラ、ソレ

デハ徵稅ノ目的ヲ達シナイデアラウ、斯ウ

ノデ警察官ニ咎メラレル、形ハ受付ヲ一度

出サヘスレバ宜イト云フヤウナコトデ、事

實大分行ハレタラシイノデス、ソコデ最近

ニ於キマシテハ地方競馬法モ改正ニナリ、

一競馬ニ付テ一ツ、斯ウ云フコトニ變ツテ來

タヤウデアリマス、隨テ其改札口ヲ出タリ

入ツタリスル必要ガナクナッテ、或ハ五枚附

ケタノヲ賣リ、或ハ十枚附イタノヲ賣ル、
斯ウ云フコトニ結局ナッテ來テ、地方競馬ノ

本質トシテ、所謂馬券ト云フモノハナイト

理窟デハ言ハレマスケレドモ、實際ニ於テ

ハ馬券ニナッテ來テシマッタノダ、公認競馬

ガ二十圓デ、地方競馬ガ一圓ダ、斯ウ云フ
コトニ事實上ナッテシマッタノデアリマスカ
ラ、私ハ農林當局ハ理論バカリヲ固執セズ

地方競馬ハ此馬券ト云フモノヲ認メナイ、
ダカラ一圓ノ入場券ヲ買ヒマシテ、其景品

トシテ、勝馬ノ投票券ガ附イテ居ルノダ、
斯ウ云フコトガ基礎ニナッテ居ツタヤウデア

リマス、其當時ハデスカラ一度入レバ一ツノ
景品ノ外ナインダカラ、若シ「レース」毎ニ

買ハウト致シマスレバ、改札口ヲ出タリ入ッタ

リシテ、兎ニ角一遍外ヘ出テ、又入場券ヲ

買ハウト致シマスレバ、改札口ヲ出タリ入ッタ

リシテ、兎ニ角一遍外ヘ出テ、又入場券ヲ

買ツテ入ル、又出ル、又入ルト云フコトデ、
徒ニ手數バカリ掛ツテ居ツタ、中デ一度ニ買

ヘバ直グ是ハ競馬法違反ニナルカラト云フ

ノデ警察官ニ咎メラレル、形ハ受付ヲ一度

出サヘスレバ宜イト云フヤウナコトデ、事

實大分行ハレタラシイノデス、ソコデ最近

ニ於キマシテハ地方競馬法モ改正ニナリ、

一競馬ニ付テ一ツ、斯ウ云フコトニ變ツテ來

タヤウデアリマス、隨テ其改札口ヲ出タリ

入ツタリスル必要ガナクナッテ、或ハ五枚附

ケタノヲ賣リ、或ハ十枚附イタノヲ賣ル、
斯ウ云フコトニ結局ナッテ來テ、地方競馬ノ

本質トシテ、所謂馬券ト云フモノハナイト

理窟デハ言ハレマスケレドモ、實際ニ於テ

ハ馬券ニナッテ來テシマッタノダ、公認競馬

ガ二十圓デ、地方競馬ガ一圓ダ、斯ウ云フ
コトニ事實上ナッテシマッタノデアリマスカ
ラ、私ハ農林當局ハ理論バカリヲ固執セズ

シテ、寧ロ公認競馬ト同ジヤウナ方法デ、折角地方競馬ヲ認メテヤルナラバ、一圓ノ馬券ヲ認メタラドウカ、入場料ト馬券トヲ本競馬ノヤウニ確立スレバ是ハ明ニナッテ來マス、又大藏當局ニ私ハ御尋致シタイノデアリマスガ、小串君カラ御尋ガアッタカト思ヒマスガ、寧ロ徵稅技術ノ簡単ナ方法ハ、結局資產組合、即チ競馬ヲ主催シテ居ル方ガ、此稅ヲ負擔スルト云フコトニナルカラ、總額ノ何分ト云フ風ニシテ、今ノ百分ノ十トカ言ハズ、或ハ百分ノ二トカ三トカト云フ歩合ニシテ徵稅ヲスレバ、頗ル簡単デアル、昔アリマシタ通行稅デモ附ケルヤウニ、極メテ簡單ナ徵稅法デ行ケルデハナイカ、而モ政府ノ目的ハ達スル、斯ウ云フ御尋ガアツタ時ニ、政府ノ御答辯トシテヘ、ソレデハ徵稅ノ本質ニ反スルノダト云フ御答辯——ヤハリ理論ニ囚ハレテ、實際ハ便利デアツテモ、是デハイケナイ、サウ云フコトカラ枚數ニ割ツテ、結局一圓ト云フモノニ對シテ一割ヲ附ケル、斯ウ云フ御答辯デアッタ思ヒマス、サウ致シマスレバ、兩方聽イテ考ヘマスト、農林當局ノ地方競馬ノ取扱モ餘リ理論バカリニ馳セテ、實際ト理論ト遠ザカツテシマッテ、實際ハ一圓ノ馬券ニナッテ居ル、大藏當局モ餘リ理論ニ囚ハレマスト、

徵稅ガ複雜ナルノミナラズ、脫稅勝手放題ト云フヤウナ弊害ガ茲ニ出テ來ル、脫稅ガ自由ニ出來ルヤウナ方法ヲ認メルト云フコトハ、國民ノ思想ノ上カラ宜クナイコトダテ思ヒマス、ダカラ餘リ理論ニ囚ハレズシテ、コ、ハ大藏當局ニ於テハ徵稅ノ便宜ト云フ方デ御考ニナルノガ然ルベシト思フ、同時ニ農林當局ノ方モ、地方競馬ヲ認メタナラバ、寧ロ一圓ノ馬券ニシテシマッタラドウカ、サウ云フ風ニ篤ト御考ニナラナケレバ、地方競馬ノ入場料ノ御話ハイツマデ經ッテモ同ジコトヲ繰返サナケレバナラスト思フ、其邊ヲ餘程御考ニナリマシテ、ドチラガ御讓リニナルト云フコトモ私カラハ申上ゲ兼ネマスガ、成ベク簡單ニ要ヲ得テ、サウシテ實際ニ合フヤウナ方法ヲ御考ニナルコトヲ希望致シマス、之ニ付テ何カ御考ガアリマシタナラバ御答ヲ御願致シタイ

○太田政府委員 服部サン、岡本サン、小串サンカラ段々ノ御話ハ能ク承ツテ置キマス、解説論トシテハ主稅局長ノ申シタ通りデゴザイマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ能ク考ヘマシテ、モウ一遍改メテ御返事申上ゲタイト思ヒマス、今日ノ所ハ其程度デ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス
○高橋政府委員 地方競馬ノ問題ニ付キマス、尙ほ此部屋ハ決算委員會デ使フサウデアリマシテ、委員室ガ第十委員室ニ代リマスカラ御承知置ヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時散會

明日ハ午前十時ヨリ開會致シタイト思ヒマス、尙ほ此部屋ハ決算委員會デ使フサウデアリマシテ、委員室ガ第十委員室ニ代リマスカラ御承知置ヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

○高橋政府委員 地方競馬ノ問題ニ付キマス、尙ほ此部屋ハ決算委員會デ使フサウデアリマシテ、委員室ガ第十委員室ニ代リマスカラ御承知置ヲ願ヒタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

昭和十三年三月二日印刷

昭和十三年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局